

令和3年度
自殺対策に関する調査報告書
(未成年)

兵庫県 福祉部 障害福祉課

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査項目	1
4 調査設計	1
5 回収結果	1
6 標本設計	1
II 調査結果の概要	2
1 自殺対策関連	2
2 新型コロナウイルス感染症関連	2
3 依存症対策関連	3
III 調査結果の分析	4
本報告書のグラフ等についての留意事項	4
III-1 回答者の基本属性	5
III-2 調査結果	10
1 自殺対策関連	10
2 新型コロナウイルス感染症関連	28
3 依存症対策関連	34

I 調査の概要

1 調査目的

県民の自殺対策・依存症対策に対する意識や行動を調査し、現行の「兵庫県自殺対策計画」等の進捗状況を評価すると共に、次期計画策定のための目標設定及び推進方針を検討するため

2 調査対象

県内に居住する中学1年生、中学3年生、高校3年生相当の男女、3,000人

3 調査項目

回答者の基本属性に関する設問	設問1	～	設問4
(1) 自殺対策関連	設問47	～	設問54
(2) 新型コロナウイルス感染症関連	設問55	～	設問56
(3) 依存症対策関連	設問57		
(4) その他・自由記載欄	設問58		

※当調査は「兵庫県健康づくり実態調査（健康局健康増進課実施）」と併せて実施しており、設問5～設問46については「兵庫県健康づくり実態調査」に関する設問であるため未記載

4 調査設計

(1) 標本の抽出

- ①地域別の指標として運用するため、各圏域から300人ずつ抽出
- ②各市区町の人口構成比に応じて地域を構成する市区町に標本数を配分
(各学年に相当する年齢別、男女別)

(2) 調査方法

郵送調査

(3) 調査時期

令和3年11月15日～令和3年12月15日

5 回収結果

対象区分	配布数	回収数	回収率	うち無効票	有効回答数
未成年	3,000	936	31.2%	9	927

6 標本設計

集計対象とした936人のうち、有効回答927人に関して、圏域毎に全県内の母集団構成比を復元するよう重みづけを行った上で、全県値を算出している。

Ⅱ 調査結果の概要

1 自殺対策関連

- 1) 「うつ病のサイン」に気付いた時の対応についてお尋ねします。もし仮に、あなたが、今あなたの家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気付いたとき、専門の相談窓口（かかりつけ医や、精神科、保健所等公的機関等の相談窓口）へ相談することを勧めますか（問48）
「勧める」が60.6%で最も多く、「わからない」が30.0%、「勧めない」が6.0%となっています。
- 2) あなたは、これまで本気で自殺したいと考えたことはありますか（問50）
「ない」が81.7%、「ある」が13.4%となっています。
- 3) あなたは、この1年以内に本気で自殺したいと考えたことはありますか（問51）
「ない」が86.1%、「ある」が8.9%となっています。
- 4) もし仮に、あなたは、「自殺したい」と思うほどの悩みを抱えたときは、誰かに相談しますか（問52）
「する」が60.4%、「しない」が33.3%となっています。
- 5) もし仮に、あなたは、身近な人に「死にたい」と相談されたときはどうしますか（問53）
「ひたすら耳を傾けて聞く」が60.6%で最も多く、次いで「『死んではいけない』と説得する」が33.4%、「『死にたいくらい辛いんだね』と共感する」が33.2%で続いています。

2 新型コロナウイルス感染症関連

- 6) 「新型コロナウイルス感染症」に関連して、お尋ねします。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、次のようなことはありましたか（問55）。
「どれもなかった」が60.1%で最も多く、次いで「怒りを感じた、イライラした」が17.5%、「神経過敏に感じた、気がはりつめていた」が17.4%で続いています。
- 7) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際して、不安に思ったことをお答えください（問56）
「自分や家族の感染への不安」が58.6%で最も多く、次いで「自粛等による生活の変化に対する不安」が30.8%、「自分や家族の勉強や進学に関する不安」が26.8%で続いています。

3 依存症対策関連

8) 以下の(ア)～(カ)に掲げる病気になったのは、「本人の責任である」と思いますか。(ア)～(カ)について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください(問57)

(ア) うつ病

(イ) アルコール依存症

(ウ) がん

(エ) ギャンブル等依存症

(オ) 糖尿病

(カ) 薬物依存症

「うつ病」「がん」では「本人の責任である」と思わない人が半数を超えている一方、「アルコール依存症」「ギャンブル等依存症」「薬物依存症」では「本人の責任である」と思う人が半数を超えています。

Ⅲ 調査結果の分析

本報告書のグラフ等についての留意事項

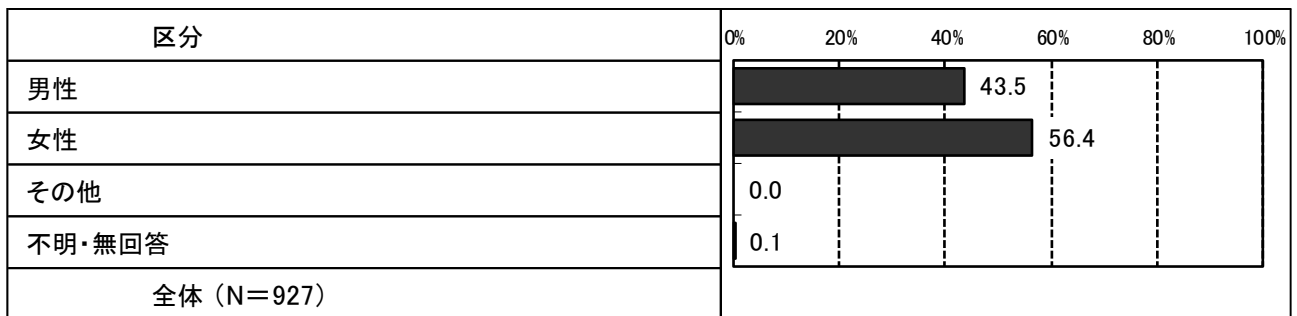
- 本報告書における【全県値】の回答割合は、単純集計を圏域別人口比で重みづけしており、【圏域別】【性・学年別】の回答割合は重みづけしていないため、【全県値】と【圏域別】【性・学年別】は一致しません。
- 【圏域別】【性・学年別】の集計は、選択肢が少ない設問（無回答含まず4つ以下程度）については横棒グラフで、選択肢が多い設問はクロス集計表で表現しています。
- 【圏域別】【性・学年別】の横棒グラフの単位は、「N」が「人」、それ以外は「%」です。
- 【圏域別】【性・学年別】のクロス集計表の単位は、「合計」が「人」、それ以外は「%」です。
- 【圏域別】【性・学年別】のクロス集計表は、回答割合の高い上位3位に網掛けをしています。色が濃いほど回答割合が高いことを示します。

Ⅲ-1 回答者の基本属性

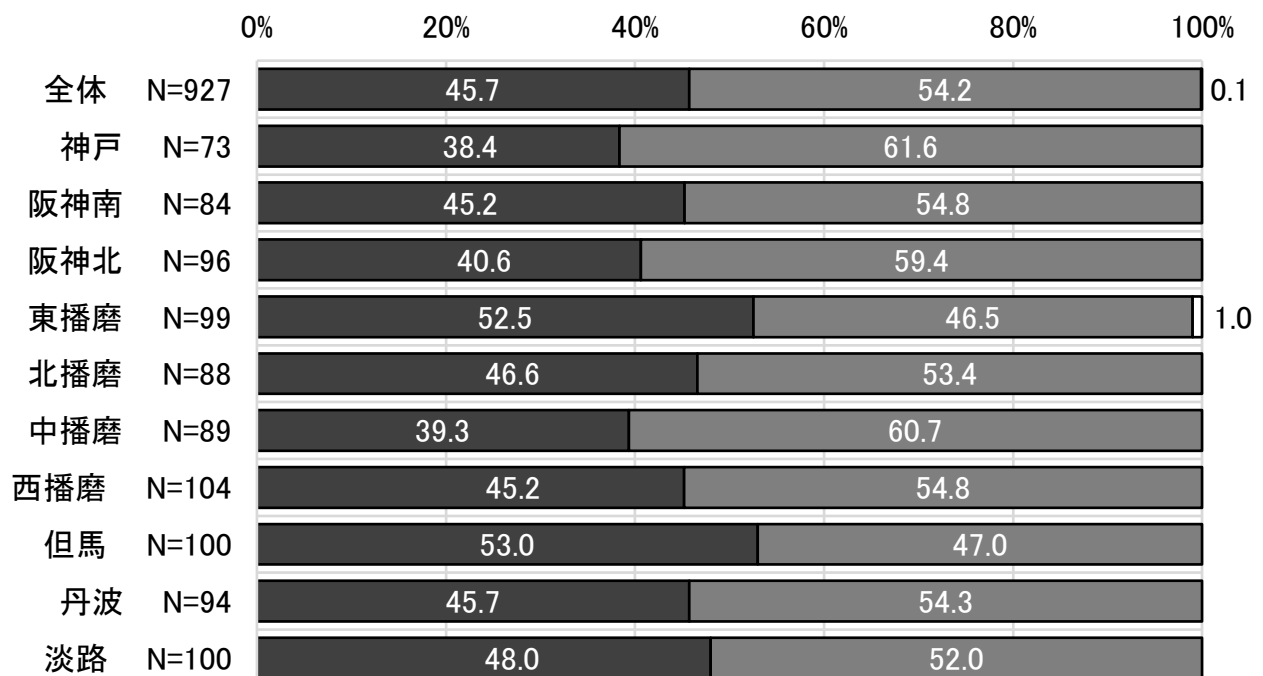
問1 性別をお答えください。

【全県値】

「女性」が56.4%、「男性」が43.5%となっています。



【圏域別】



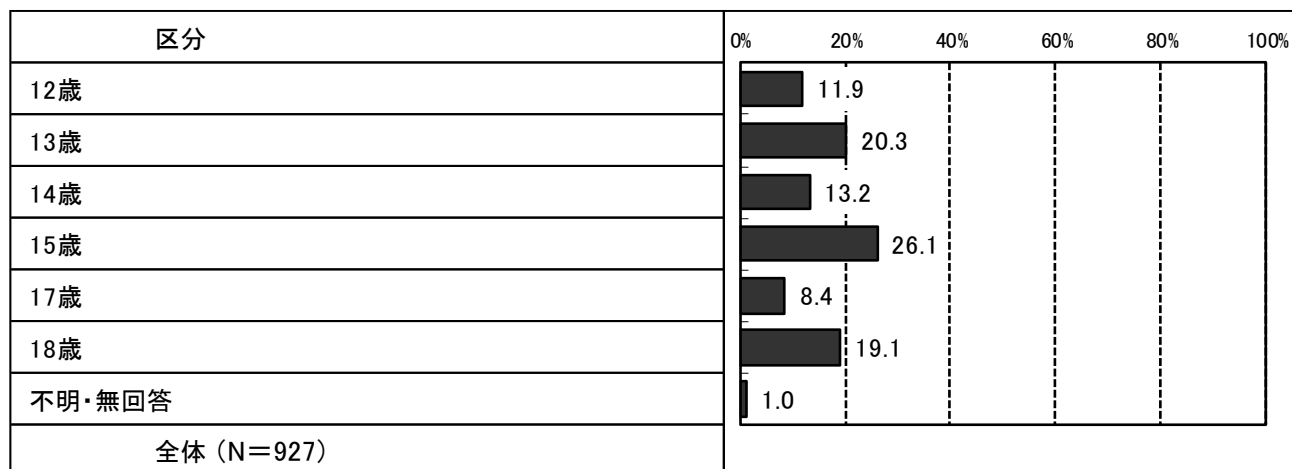
■男性 ■女性 □その他 □無回答

問2 年齢と学年(令和3年11月1日現在)をご記入ください。

「15歳」が26.1%で最も多く、「13歳」が20.3%、「18歳」が19.1%となっています。

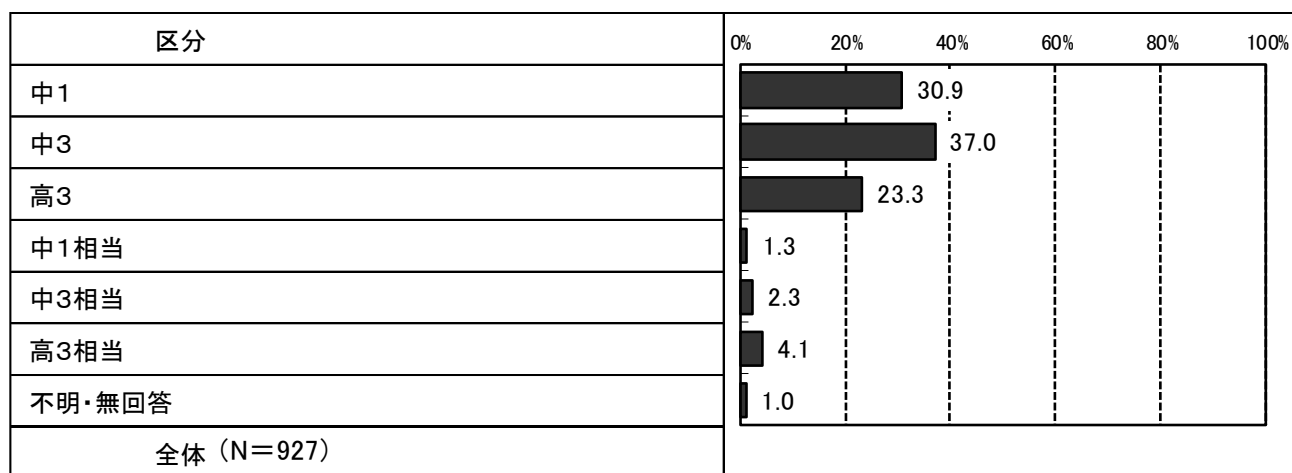
(平均：14.8歳)

【全県値】



「中3」が37.0%で最も多く、「中1」が30.9%、「高3」が23.3%となっています。

【全県値】



注：年齢と学年の回答が異なる場合、年齢の回答により集計した。「中1相当」「中3相当」「高3相当」に該当する年齢は以下の通り。

「中1相当」：年齢と学年の回答が異なる人で、12歳または13歳と回答した人

「中3相当」：年齢と学年の回答が異なる人で、14歳または15歳と回答した人

「高3相当」：年齢と学年の回答が異なる人で、17歳または18歳と回答した人

【圏域別】

	合計	12歳	13歳	14歳	15歳	17歳	18歳	無回答
全体	927	11.7	21.4	11.8	25.7	8.5	19.3	1.7
神戸	73	12.3	19.2	16.4	27.4	9.6	15.1	0.0
阪神南	84	8.3	17.9	19.0	22.6	7.1	23.8	1.2
阪神北	96	11.5	25.0	10.4	27.1	7.3	18.8	0.0
東播磨	99	10.1	23.2	6.1	26.3	9.1	24.2	1.0
北播磨	88	9.1	22.7	13.6	25.0	6.8	19.3	3.4
中播磨	89	21.3	14.6	7.9	28.1	9.0	16.9	2.2
西播磨	104	12.5	23.1	19.2	25.0	5.8	12.5	1.9
但馬	100	15.0	15.0	10.0	32.0	11.0	16.0	1.0
丹波	94	8.5	26.6	6.4	19.1	11.7	24.5	3.2
淡路	100	8.0	25.0	10.0	24.0	8.0	22.0	3.0

【性・学年別】

	合計	中1	中3	高3	中1相当	中3相当	高3相当	無回答
全体	927	31.3	35.5	23.1	1.7	1.9	4.7	1.7
神戸	73	31.5	41.1	20.5	0.0	2.7	4.1	0.0
阪神南	84	25.0	39.3	26.2	1.2	2.4	4.8	1.2
阪神北	96	35.4	35.4	25.0	1.0	2.1	1.0	0.0
東播磨	99	29.3	29.3	29.3	4.0	3.0	4.0	1.0
北播磨	88	29.5	36.4	18.2	2.3	2.3	8.0	3.4
中播磨	89	36.0	34.8	21.3	0.0	1.1	4.5	2.2
西播磨	104	31.7	43.3	13.5	3.8	1.0	4.8	1.9
但馬	100	27.0	40.0	23.0	3.0	2.0	4.0	1.0
丹波	94	35.1	23.4	28.7	0.0	2.1	7.4	3.2
淡路	100	32.0	33.0	25.0	1.0	1.0	5.0	3.0

問3 現在の身長と体重(小数点第1位まで)をご記入ください。(BMI値)

■BMI 値

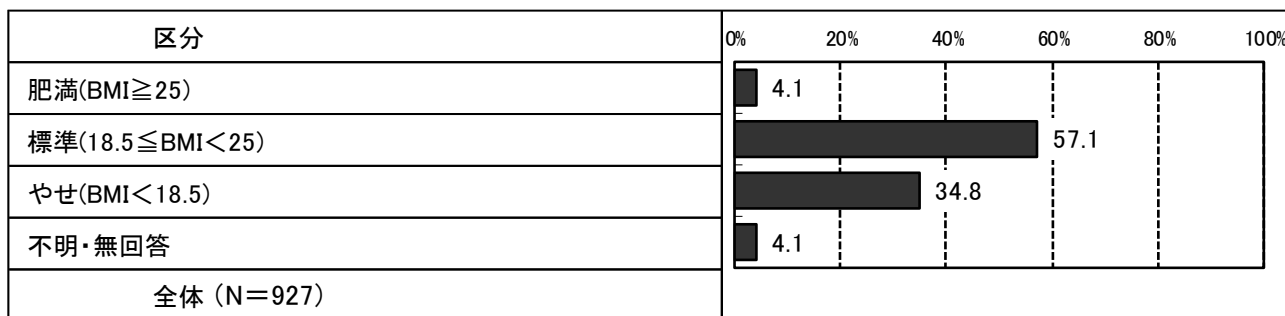
BMI 値はボディマス指数と呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数です。

体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} で算出されます。

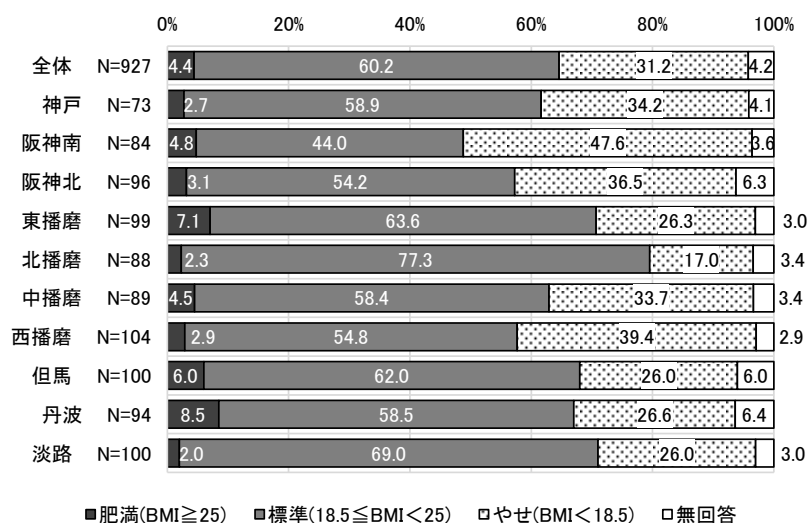
BMI < 18.5 で「やせ」、18.5 ≤ BMI < 25 で「標準」、25 ≤ BMI で「肥満」とし、集計しました。

「標準(18.5 ≤ BMI < 25)」が 57.1% で最も多く、「やせ(BMI < 18.5)」が 34.8%、「肥満(25 ≤ BMI)」が 4.1% となっています。(平均: BMI = 19.8)

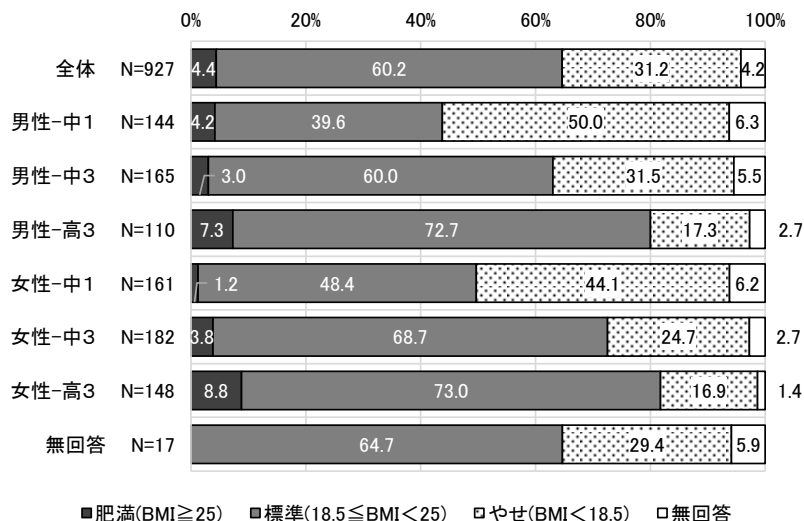
【全県値】



【圏域別】



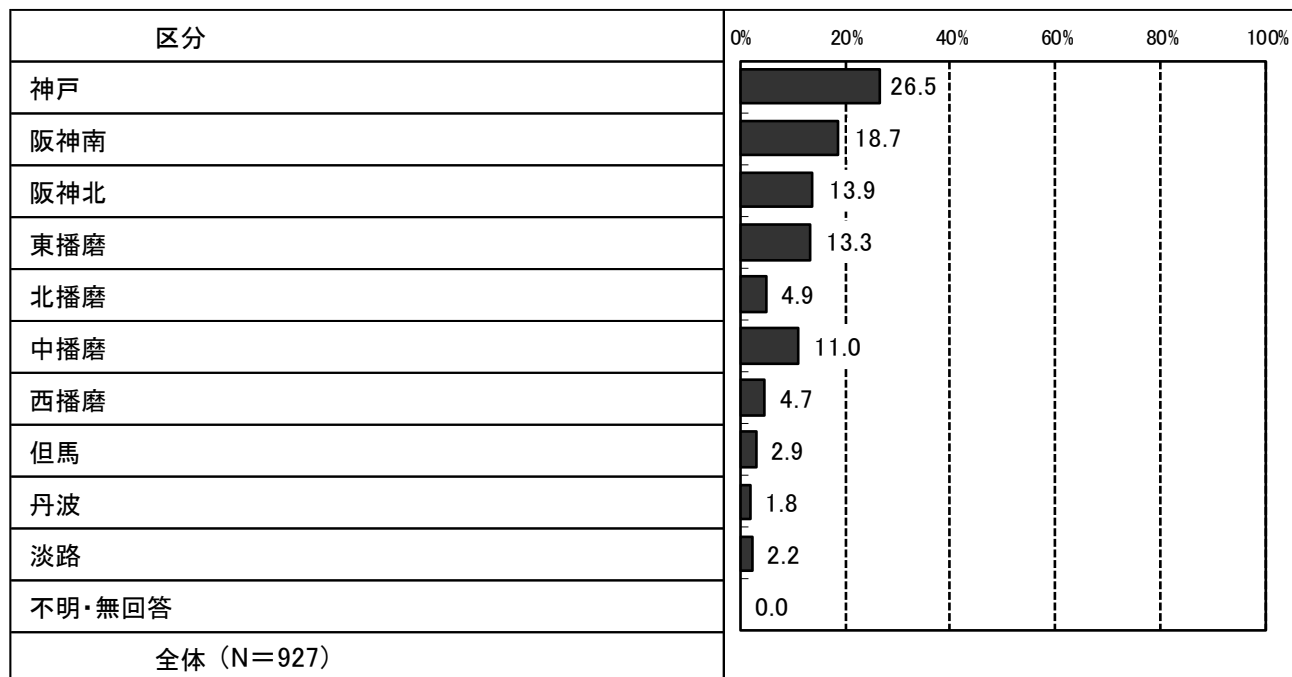
【性・学年別】



問4 現在のお住まいをご記入ください。

「神戸」が26.5%で最も多く、次いで「阪神南」が18.7%、「阪神北」が13.9%が続いています。

【圏域別】



【性・学年別】

	合計	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	無回答
全体	927	7.9	9.1	10.4	10.7	9.5	9.6	11.2	10.8	10.1	10.8	0.0
男性-中1	144	6.3	5.6	11.1	13.2	9.0	10.4	9.0	11.1	12.5	11.8	0.0
男性-中3	165	7.3	9.7	8.5	10.3	10.9	7.9	12.7	15.8	6.7	10.3	0.0
男性-高3	110	6.4	11.8	8.2	13.6	9.1	5.5	10.9	9.1	12.7	12.7	0.0
女性-中1	161	8.7	8.7	11.8	8.1	9.3	10.6	14.9	8.7	9.3	9.9	0.0
女性-中3	182	11.0	10.4	12.1	8.2	8.8	10.4	13.7	8.8	7.1	9.3	0.0
女性-高3	148	7.4	8.8	10.8	12.2	8.8	11.5	4.7	11.5	13.5	10.8	0.0
無回答	17	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6	11.8	11.8	5.9	17.6	17.6	0.0

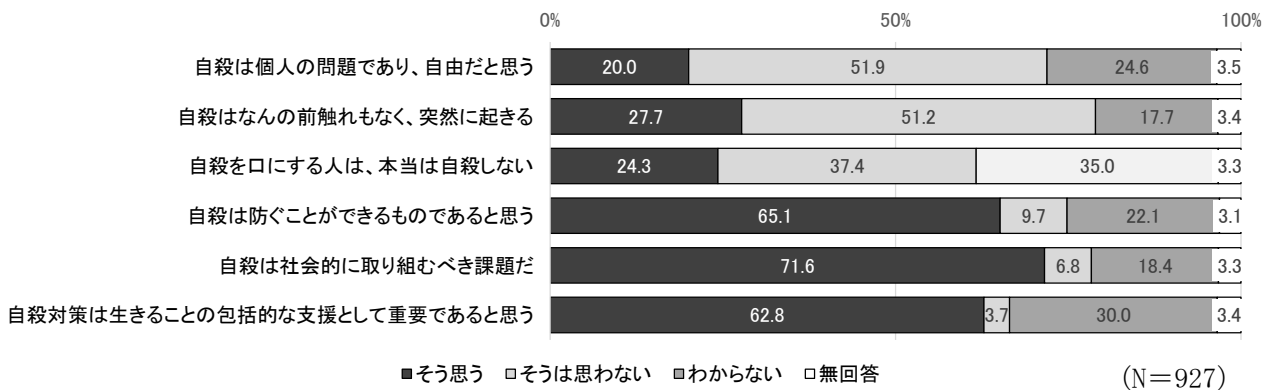
Ⅲ-2 調査結果

1 自殺対策関連

問47 (ア)から(カ)について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

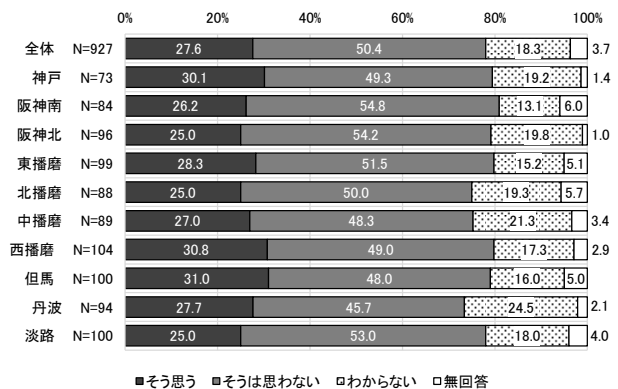
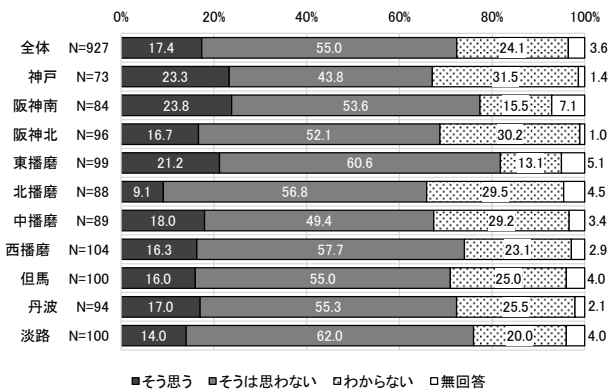
「自殺は防ぐことができるものであると思う」「自殺は社会的に取り組むべき課題だ」「自殺対策は生きることの包括的な支援として重要であると思う」では「そう思う」と答えた人が半数を超えています。一方で、「自殺は個人の問題であり、自由だと思う」「自殺はなんの前触れもなく、突然に起きる」「自殺を口にする人は、本当は自殺しない」では「そうは思わない」が「そう思う」を上回っています。

【全県値】

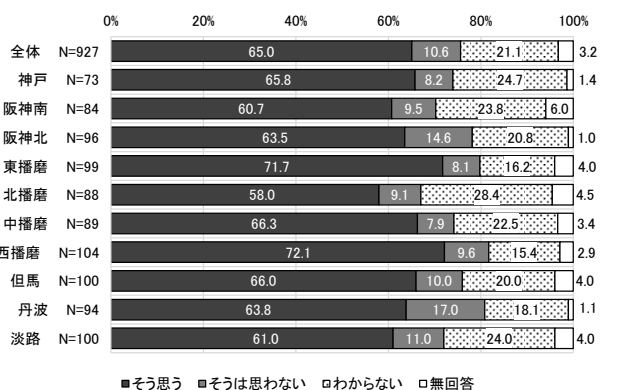
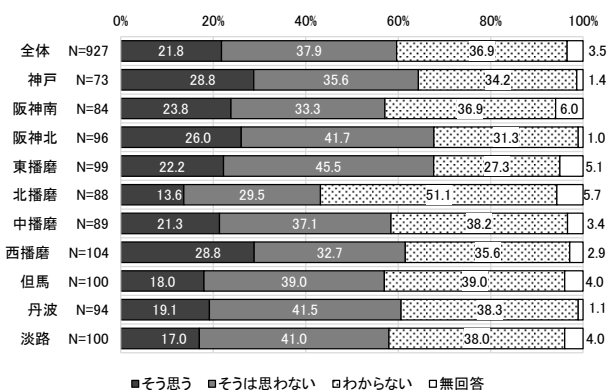


【圏域別】

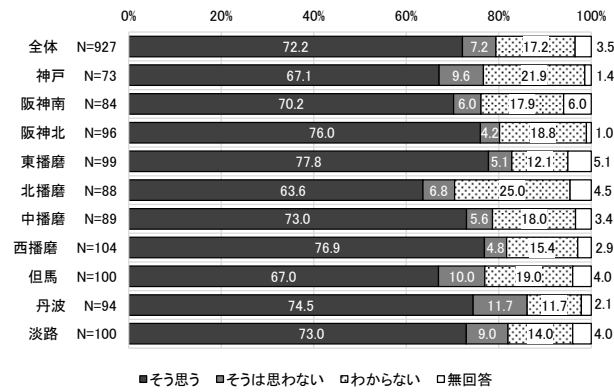
(ア) 自殺は個人の問題であり、自由だと思う (イ) 自殺はなんの前触れもなく、突然に起きる



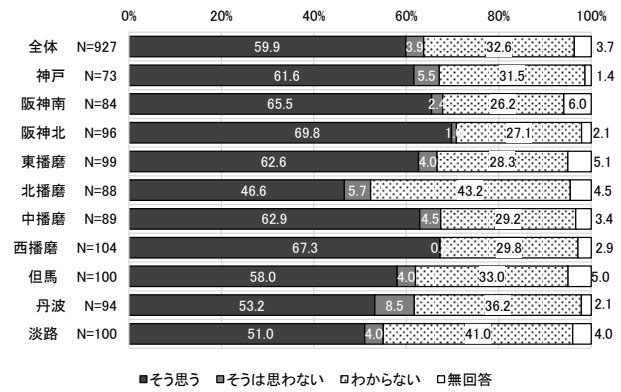
(ウ) 自殺を口にする人は、本当は自殺しない (エ) 自殺は防ぐことができるものであると思う



(オ) 自殺は社会的に取り組むべき課題だ

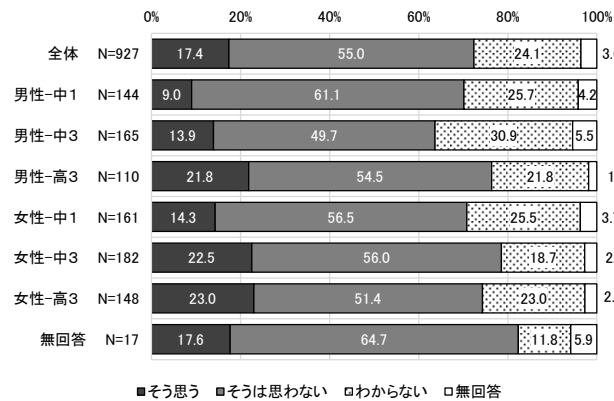


(カ) 自殺対策は生きることの包括的な支援として重要であると思う

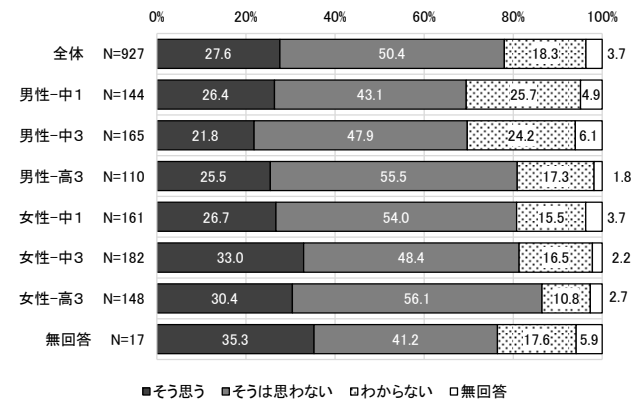


【性・学年別】

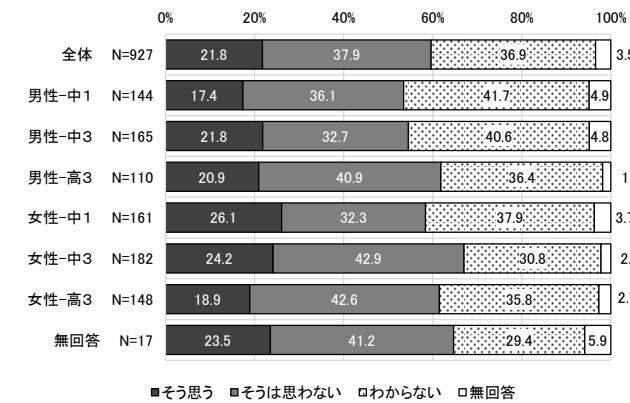
(ア) 自殺は個人の問題であり、自由だと思う



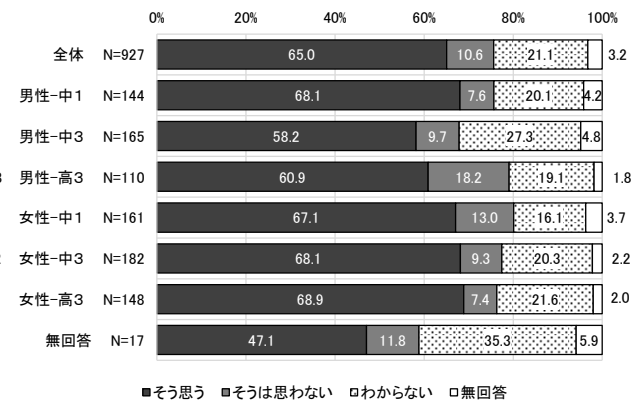
(イ) 自殺はなんの前触れもなく、突然に起きる



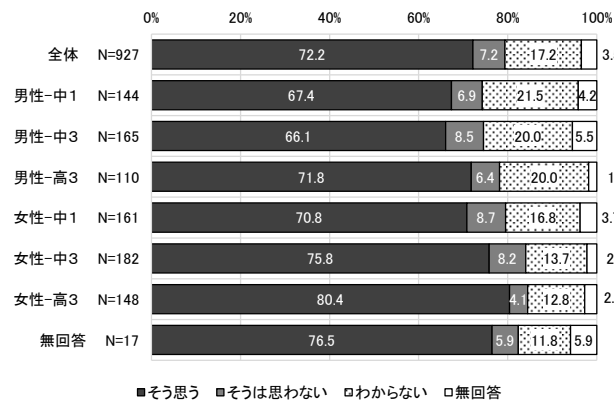
(ウ) 自殺を口にする人は、本当は自殺しない



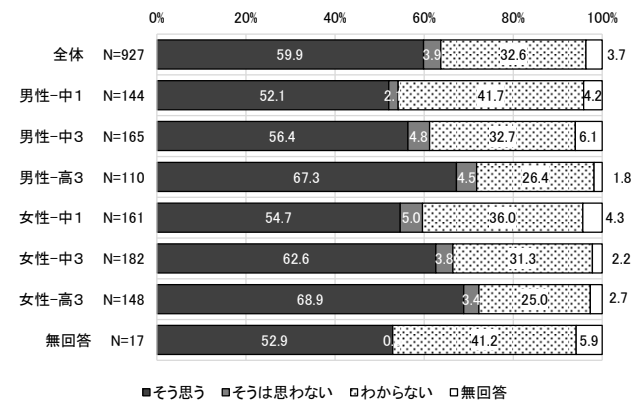
(エ) 自殺は防ぐことができるものであると思う



(オ) 自殺は社会的に取り組むべき課題だ



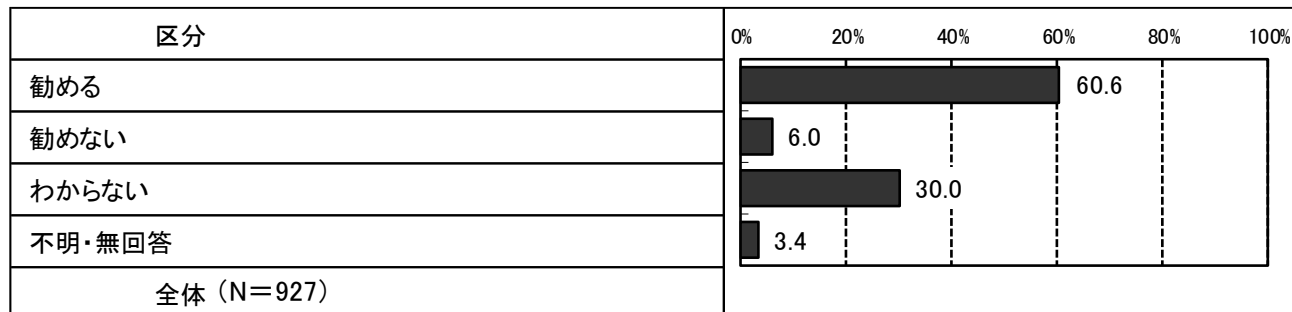
(カ) 自殺対策は生きることの包括的な支援として重要であると思う



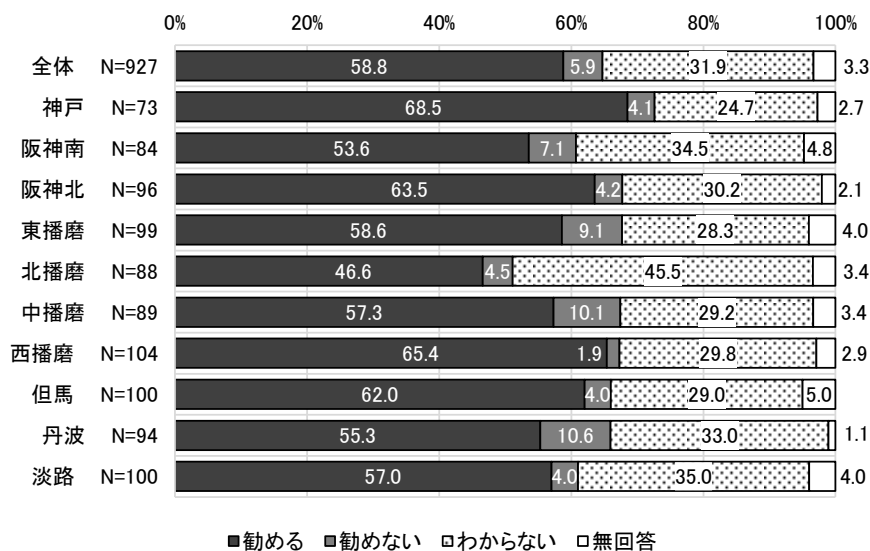
問48「うつ病のサイン」に気付いた時の対応についてお尋ねします。もし仮に、あなたが、今あなたの家族など身近な人の「うつ病のサイン」に気付いたとき、専門の相談窓口(かかりつけ医や、精神科、保健所等公的機関等の相談窓口)へ相談することを勧めますか

「勧める」が60.6%で最も多く、「わからない」が30.0%、「勧めない」が6.0%となっています。

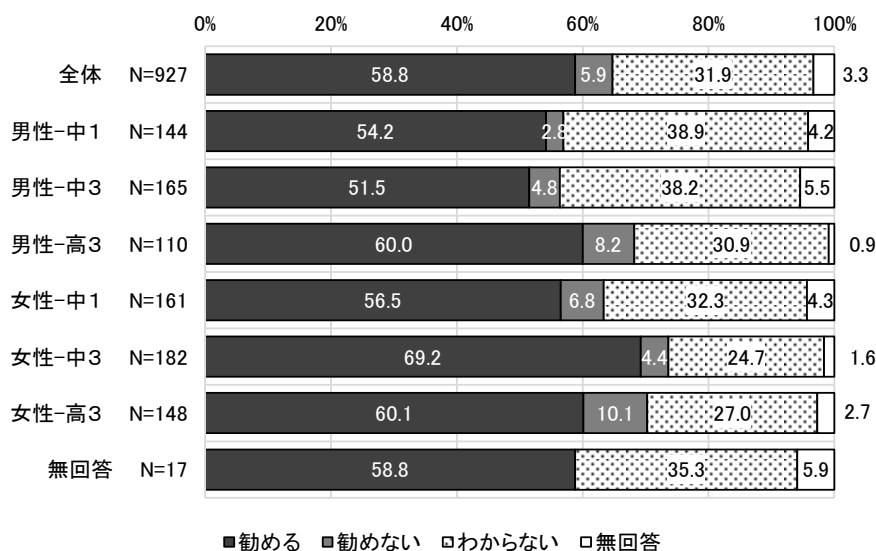
【全県値】



【圏域別】



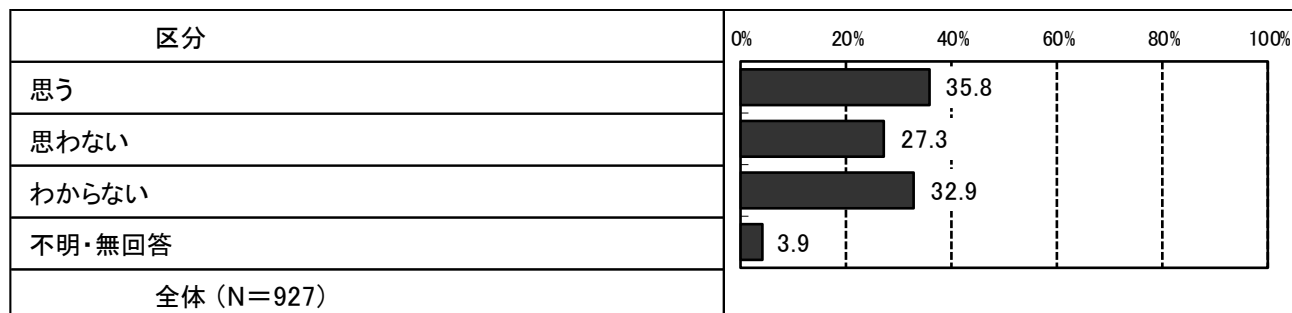
【性・学年別】



問49 もし仮に、あなたが、自分自身の「うつ病のサイン」に気付いたとき、自ら専門の相談窓口(かかりつけ医や、精神科、保健所等公的機関等の相談窓口)へ相談しようと思えますか。

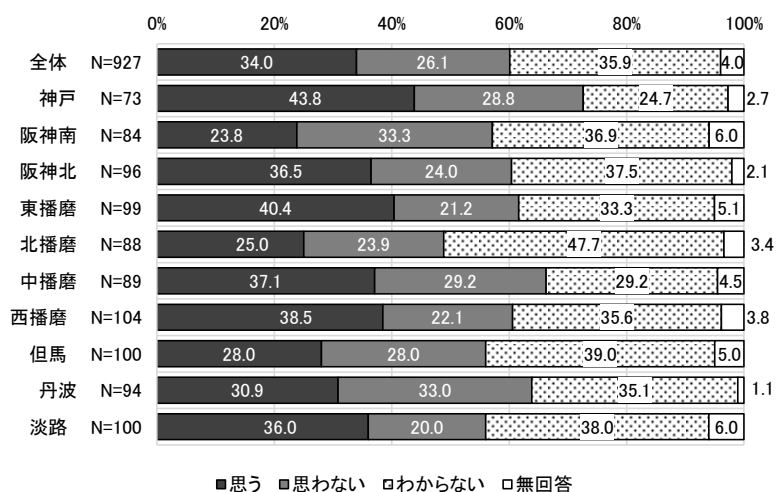
「思う」が35.8%で最も多く、「わからない」が32.9%、「思わない」が27.3%となっています。

【全県値】



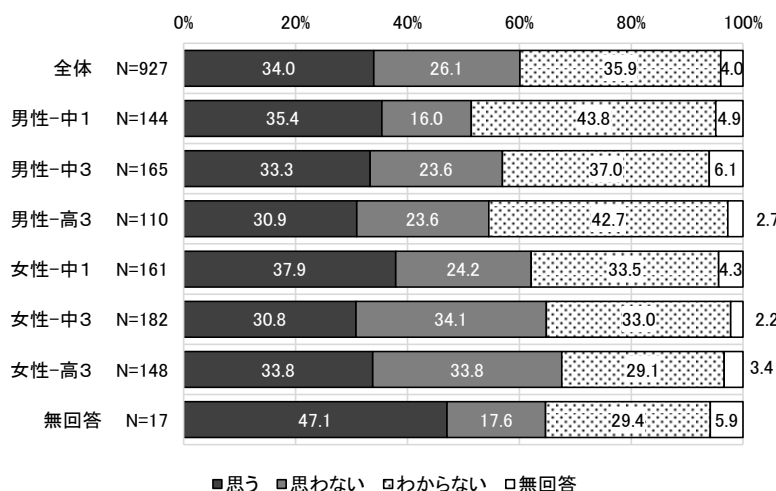
圏域別にみると、「神戸」「東播磨」「中播磨」「西播磨」では「思う」が最も高くなっている一方、それ以外の圏域では「わからない」が最も高くなっています。

【圏域別】



性・学年別にみると、「男性」ではどの学年も「わからない」が最も高くなっている一方、「女性-中1」では「思う」が最も高くなっています。（「女性-高3」は「思う」と「思わない」が同率）

【性・学年別】

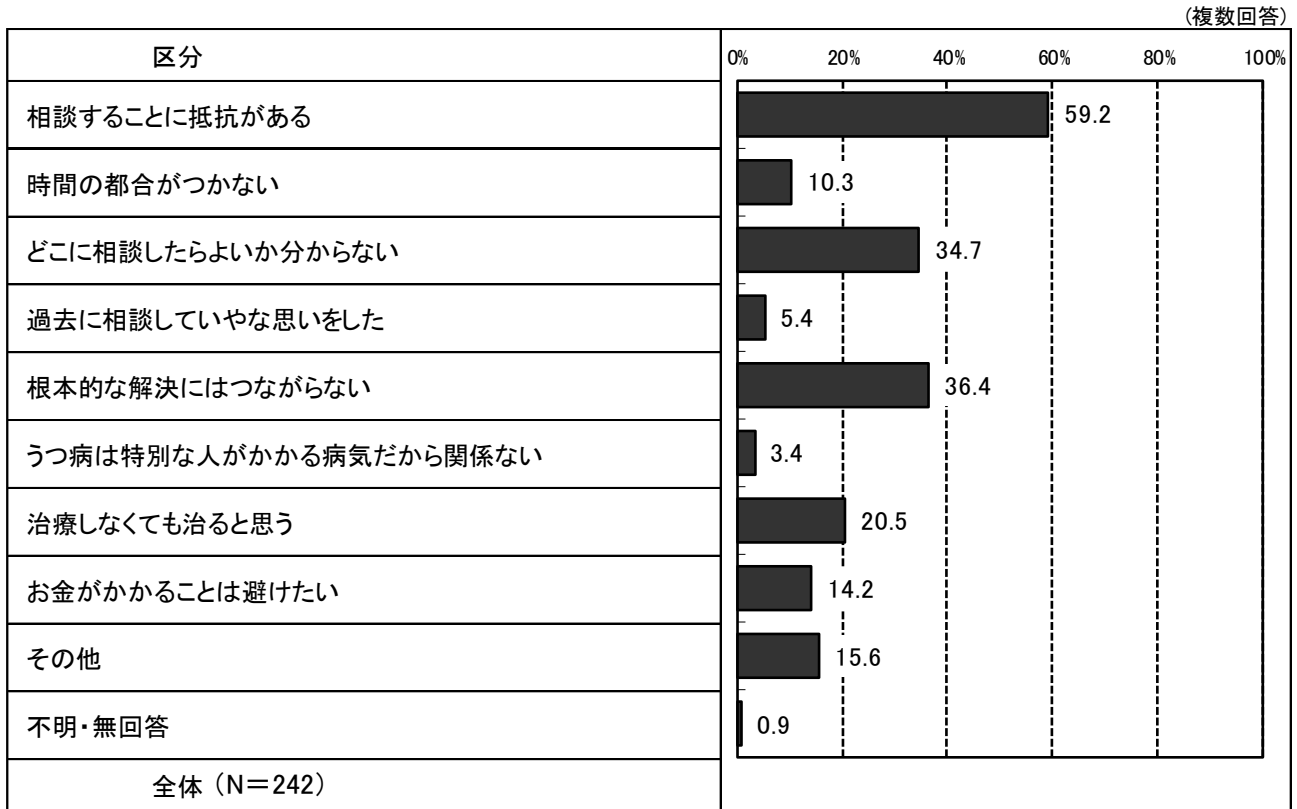


【問49で「2. 思わない」とお答えの方は以下の1) について、お答えください。】

1) 相談しようと思わないのはなぜですか。

「相談することに抵抗がある」が59.2%で最も多く、次いで「根本的な解決にはつながらない」が36.4%、「どこに相談したらよいか分からない」が34.7%で続いています。

【全県値】



注：「その他」の具体的な内容

「ひとりで解決したいから」「めんどくさい」「相談しても無駄」「大人はきらい」など

【圏域別】

	合計	相談することに抵抗がある	時間の都合がつかない	どこに相談したらよいか分からない	過去に相談していやな思いをした	根本的な解決にはつながらない	うつ病は特別な人がかかる病気だから関係ない	治療しなくても治ると思う	お金がかかることは避けたい	その他	無回答
全体	242	58.3	7.9	34.7	5.4	36.4	2.5	20.2	15.3	14.9	1.7
神戸	21	61.9	9.5	42.9	4.8	33.3	4.8	23.8	9.5	14.3	0.0
阪神南	28	53.6	17.9	25.0	3.6	42.9	3.6	17.9	17.9	21.4	0.0
阪神北	23	56.5	4.3	26.1	8.7	39.1	0.0	26.1	17.4	13.0	4.3
東播磨	21	61.9	9.5	47.6	4.8	19.0	4.8	9.5	14.3	23.8	0.0
北播磨	21	47.6	0.0	14.3	0.0	33.3	0.0	14.3	4.8	19.0	4.8
中播磨	26	69.2	11.5	34.6	7.7	46.2	3.8	19.2	15.4	3.8	0.0
西播磨	23	56.5	8.7	43.5	13.0	30.4	4.3	39.1	13.0	8.7	0.0
但馬	28	67.9	10.7	35.7	3.6	32.1	3.6	21.4	21.4	14.3	7.1
丹波	31	48.4	3.2	38.7	3.2	45.2	0.0	12.9	22.6	16.1	0.0
淡路	20	60.0	0.0	40.0	5.0	35.0	0.0	20.0	10.0	15.0	0.0

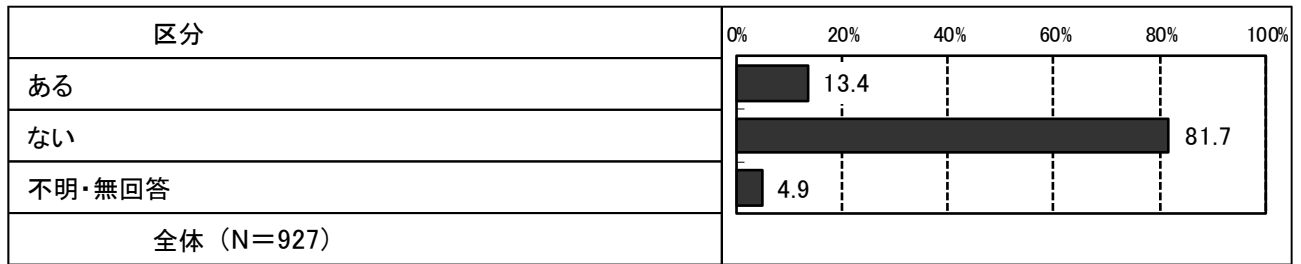
【性・学年別】

	合計	相談することに抵抗がある	時間の都合がつかない	どこに相談したらよいか分からない	過去に相談していやな思いをした	根本的な解決にはつながらない	うつ病は特別な人がかかるから病気だから関係ない	治療しなくても治ると思う	お金がかかることは避けたい	その他	無回答
全体	242	58.3	7.9	34.7	5.4	36.4	2.5	20.2	15.3	14.9	1.7
男性-中1	23	39.1	0.0	43.5	0.0	26.1	4.3	26.1	8.7	26.1	0.0
男性-中3	39	43.6	15.4	30.8	2.6	28.2	2.6	28.2	15.4	7.7	5.1
男性-高3	26	61.5	11.5	19.2	0.0	42.3	0.0	23.1	19.2	11.5	0.0
女性-中1	39	56.4	5.1	43.6	5.1	33.3	5.1	10.3	10.3	28.2	2.6
女性-中3	62	69.4	6.5	35.5	12.9	37.1	3.2	24.2	12.9	9.7	1.6
女性-高3	50	64.0	8.0	36.0	4.0	46.0	0.0	14.0	24.0	12.0	0.0
無回答	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

問50 あなたは、これまで本気で自殺したいと考えたことはありますか。

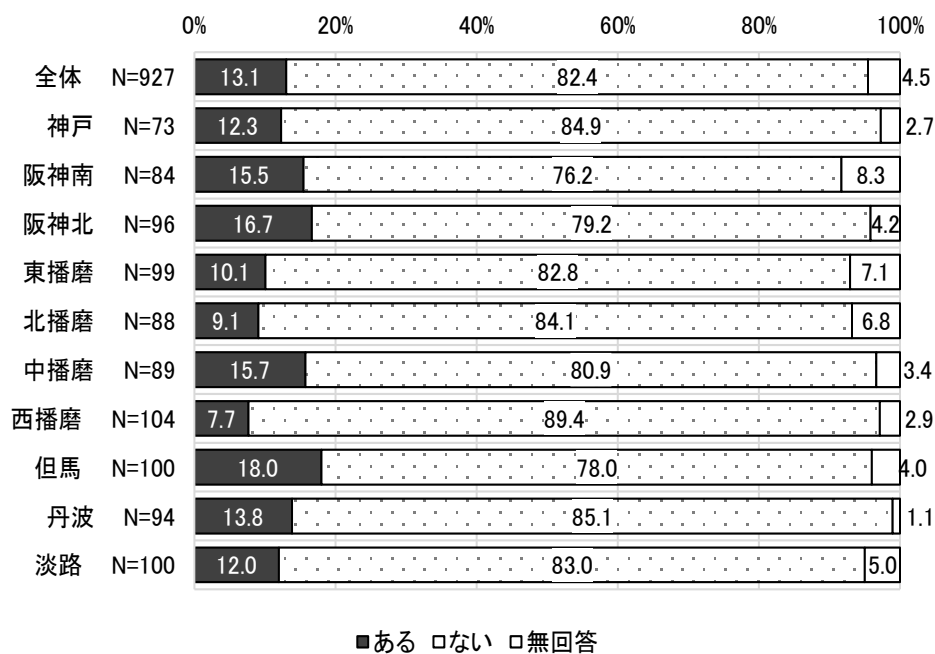
「ない」が81.7%、「ある」が13.4%となっています。

【全県値】

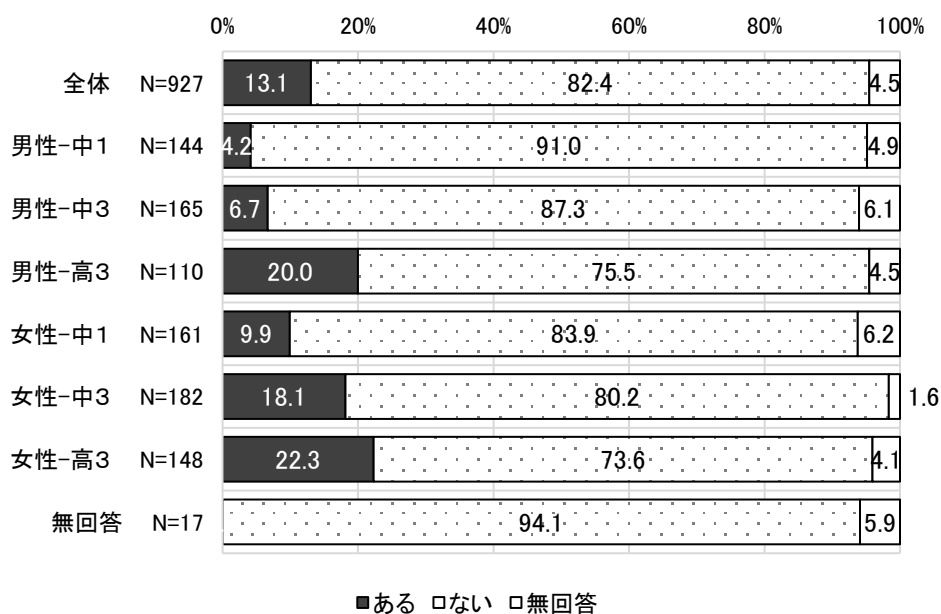


性・学年別にみると、「男性-高3」「女性-中3」「女性-高3」で「ある」が他の学年より高くなっています。

【圏域別】



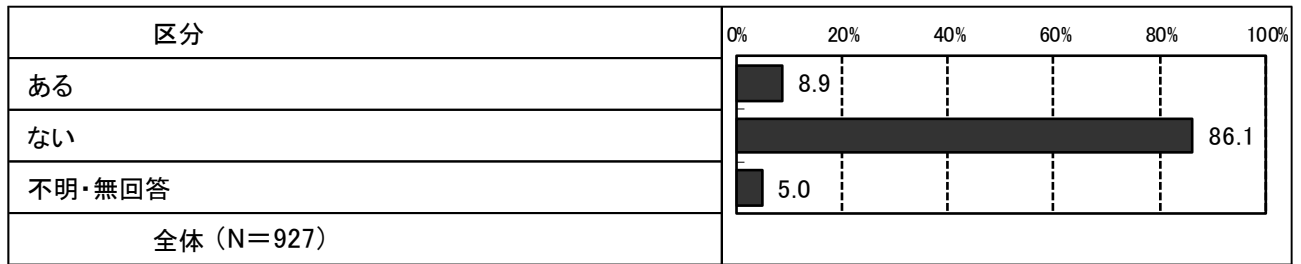
【性・学年別】



問51 あなたは、この1年以内に本気で自殺したいと考えたことはありますか。

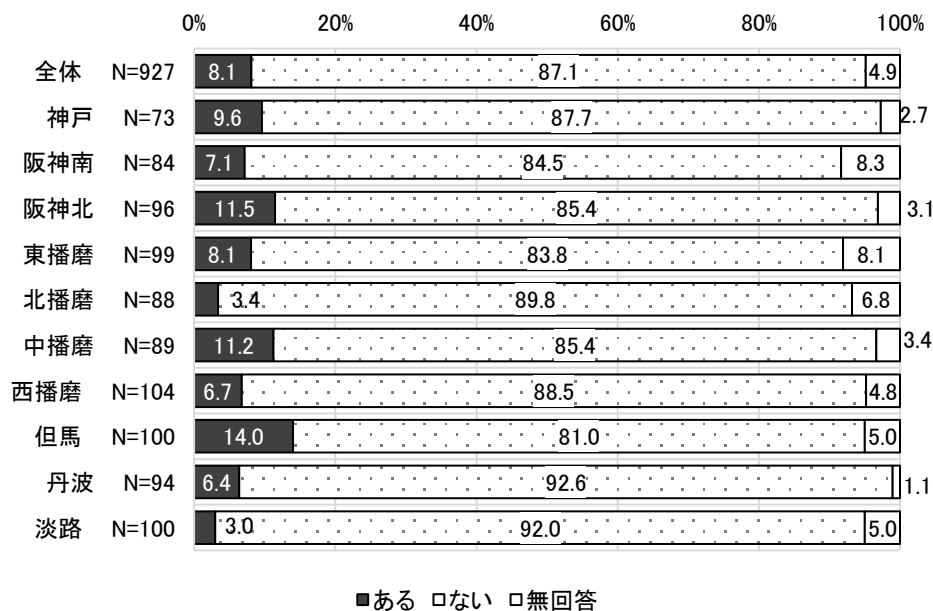
「ない」が86.1%、「ある」が8.9%となっています。

【全県値】

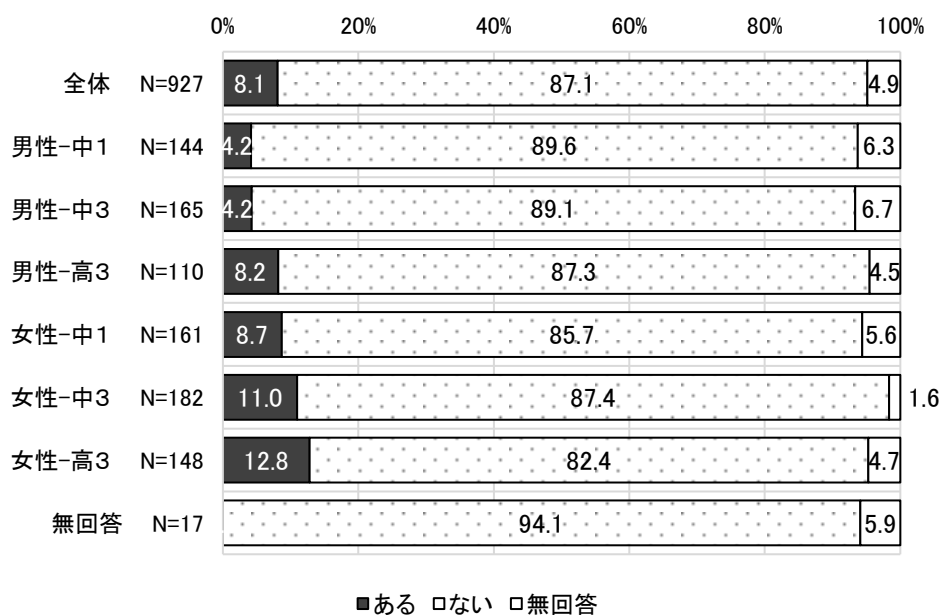


性・学年別にみると、「女性-中3」「女性-高3」で「ある」が他の学年より高くなっています。

【圏域別】



【性・学年別】

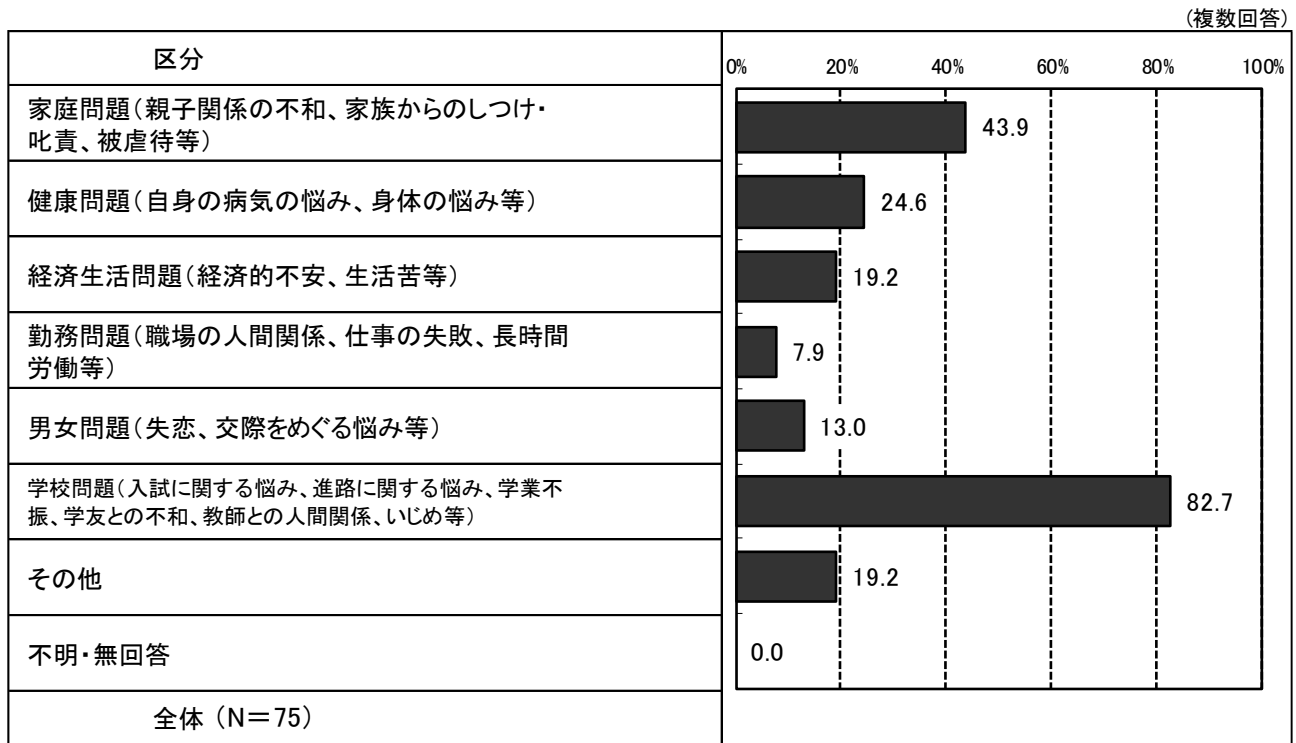


【問51で「1. ある」とお答えの方は以下の1) 2) について、お答えください。】

1) 自殺したいと思った理由は何ですか。

「学校問題（入試に関する悩み、進路に関する悩み、学業不振、学友との不和、教師との人間関係、いじめ等）」が82.7%で最も多く、次いで「家庭問題（親子関係の不和、家族からのしつけ・叱責、被虐待等）」が43.9%、「健康問題（自身の病気の悩み、身体の悩み等）」が24.6%で続いています。

【全県値】



注：「その他」の具体的な内容

「ひとりで解決したいから」「めんどくさい」「相談しても無駄」「大人はきらい」など

【圏域別】

	合計	家庭問題 (親子関係の不和、家族からのしつけ・叱責、被虐待等)	健康問題 (自身の病気の悩み、身体の悩み等)	経済生活 問題(経済的不安、生活苦等)	勤務問題 (職場の人間関係、仕事の失敗、長時間労働等)	男女問題 (失恋、交際をめぐる悩み等)	学校問題 (入試に関する悩み、進路に関する悩み、学業不振、学友との不和、教師との人間関係、いじめ等)	その他	無回答
全体	75	38.7	20.0	14.7	5.3	8.0	81.3	22.7	0.0
神戸	7	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6	71.4	28.6	0.0
阪神南	6	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
阪神北	11	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	100.0	18.2	0.0
東播磨	8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	87.5	12.5	0.0
北播磨	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
中播磨	10	60.0	40.0	10.0	0.0	10.0	60.0	20.0	0.0
西播磨	7	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	100.0	28.6	0.0
但馬	14	50.0	14.3	14.3	0.0	0.0	71.4	35.7	0.0
丹波	6	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0
淡路	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0

【性・学年別】

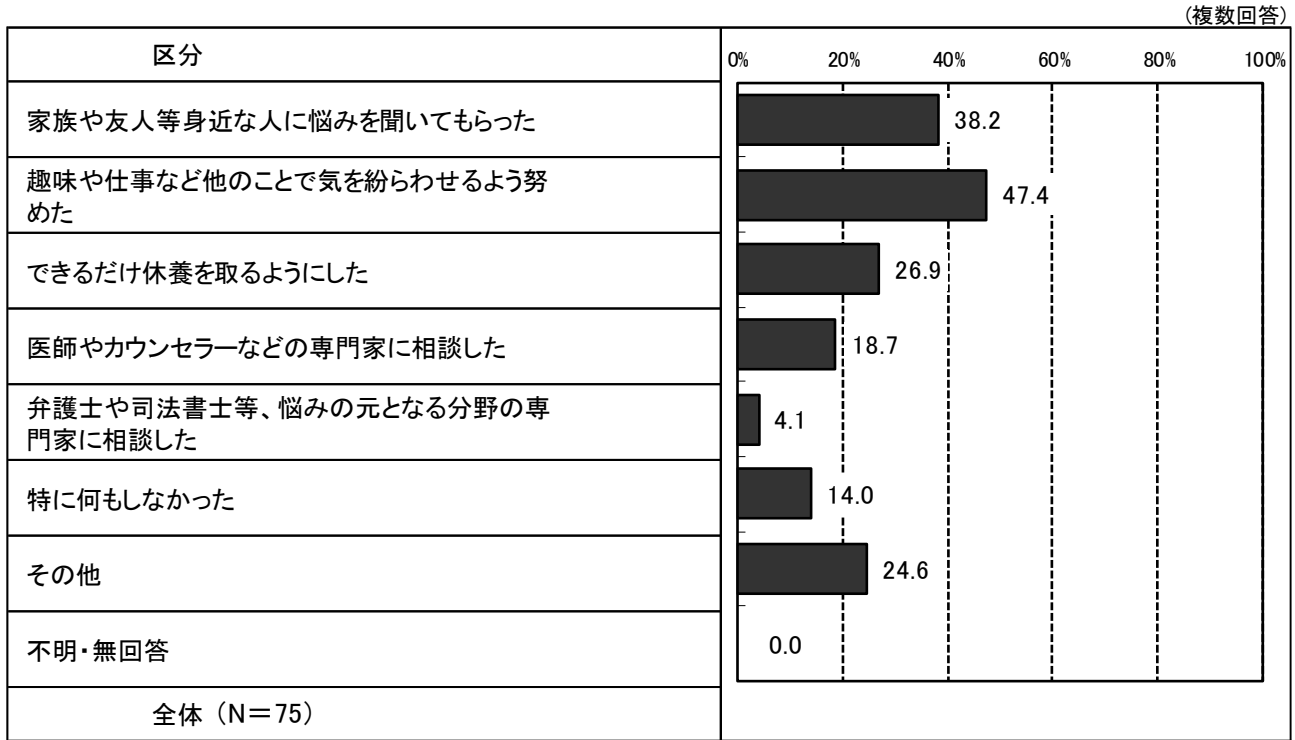
	合計	家庭問題 (親子関係の不和、家族からのしつけ・叱責、被虐待等)	健康問題 (自身の病気の悩み、身体の悩み等)	経済生活問題(経済的不安、生活苦等)	勤務問題 (職場の人間関係、仕事の失敗、長時間労働等)	男女問題 (失恋、交際をめぐる悩み等)	学校問題 (入試に関する悩み、進路に関する悩み、学業不振、学友との不和、教師との人間関係、いじめ等)	その他	無回答
全体	75	38.7	20.0	14.7	5.3	8.0	81.3	22.7	0.0
男性-中1	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0
男性-中3	7	42.9	14.3	28.6	0.0	28.6	85.7	14.3	0.0
男性-高3	9	33.3	22.2	33.3	0.0	0.0	77.8	11.1	0.0
女性-中1	14	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	85.7	21.4	0.0
女性-中3	20	30.0	30.0	5.0	5.0	10.0	80.0	35.0	0.0
女性-高3	19	47.4	15.8	21.1	10.5	5.3	84.2	21.1	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問51で「1. ある」とお答えの方は以下の2)も、お答えください。】

2) 自殺を思いとどまった（とどまっている）要因はなにですか。

「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるよう努めた」が47.4%で最も多く、次いで「家族や友人等身近な人に悩みを聞いてもらった」が38.2%、「できるだけ休養を取るようにした」が26.9%で続いています。

【全県値】



【圏域別】

	合計	家族や友人等身近な人に悩みを聞いてもらった	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるよう努めた	できるだけ休養を取るようにした	医師やカウンセラーなどの専門家に相談した	弁護士や司法書士等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	特に何もしなかった	その他	無回答
全体	75	30.7	38.7	22.7	10.7	1.3	17.3	34.7	0.0
神戸	7	57.1	57.1	42.9	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0
阪神南	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
阪神北	11	27.3	36.4	18.2	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0
東播磨	8	50.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
北播磨	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
中播磨	10	40.0	50.0	30.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0
西播磨	7	42.9	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
但馬	14	21.4	21.4	14.3	0.0	0.0	28.6	57.1	0.0
丹波	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
淡路	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

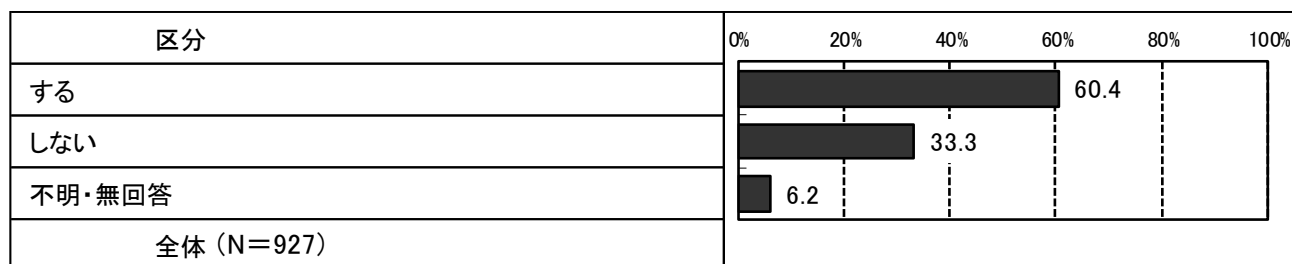
【性・学年別】

	合計	家族や友人等身近な人に悩みを聞いてもらった	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるよう努めた	できるだけ休養を取るようにした	医師やカウンセラーなどの専門家に相談した	弁護士や司法書士等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	特に何もしなかった	その他	無回答
全体	75	30.7	38.7	22.7	10.7	1.3	17.3	34.7	0.0
男性-中1	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0
男性-中3	7	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0
男性-高3	9	33.3	55.6	22.2	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0
女性-中1	14	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	28.6	50.0	0.0
女性-中3	20	15.0	45.0	25.0	5.0	0.0	10.0	50.0	0.0
女性-高3	19	47.4	52.6	36.8	21.1	0.0	5.3	21.1	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

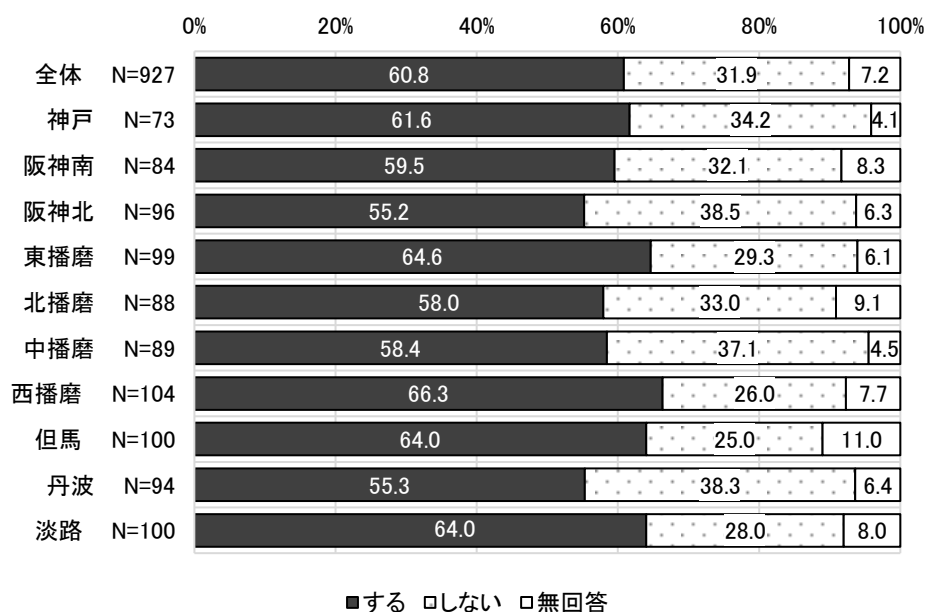
問52 もし仮に、あなたは、「自殺したい」と思うほどの悩みを抱えたときは、誰かに相談しますか。

「する」が60.4%、「しない」が33.3%となっています。

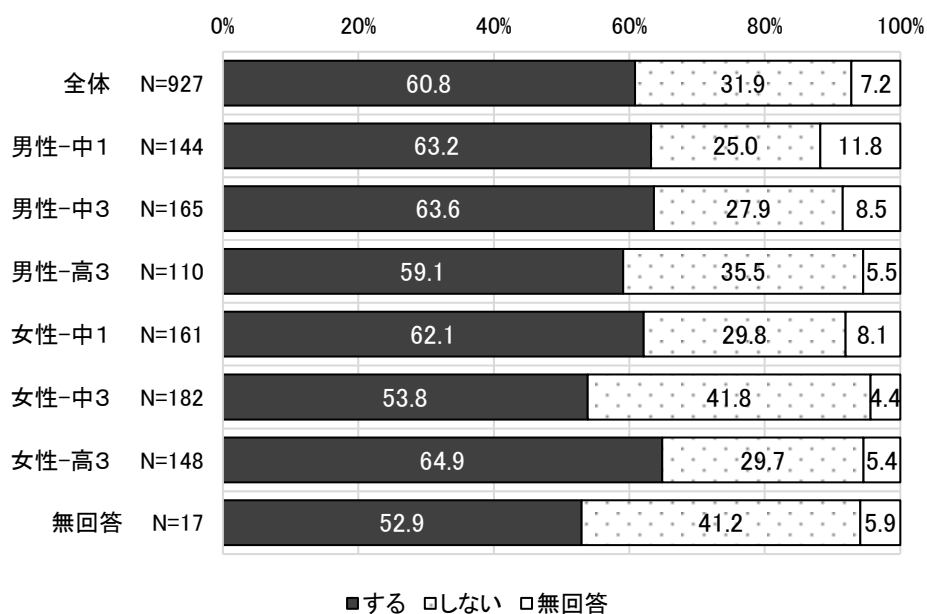
【全県値】



【圏域別】



【性・学年別】

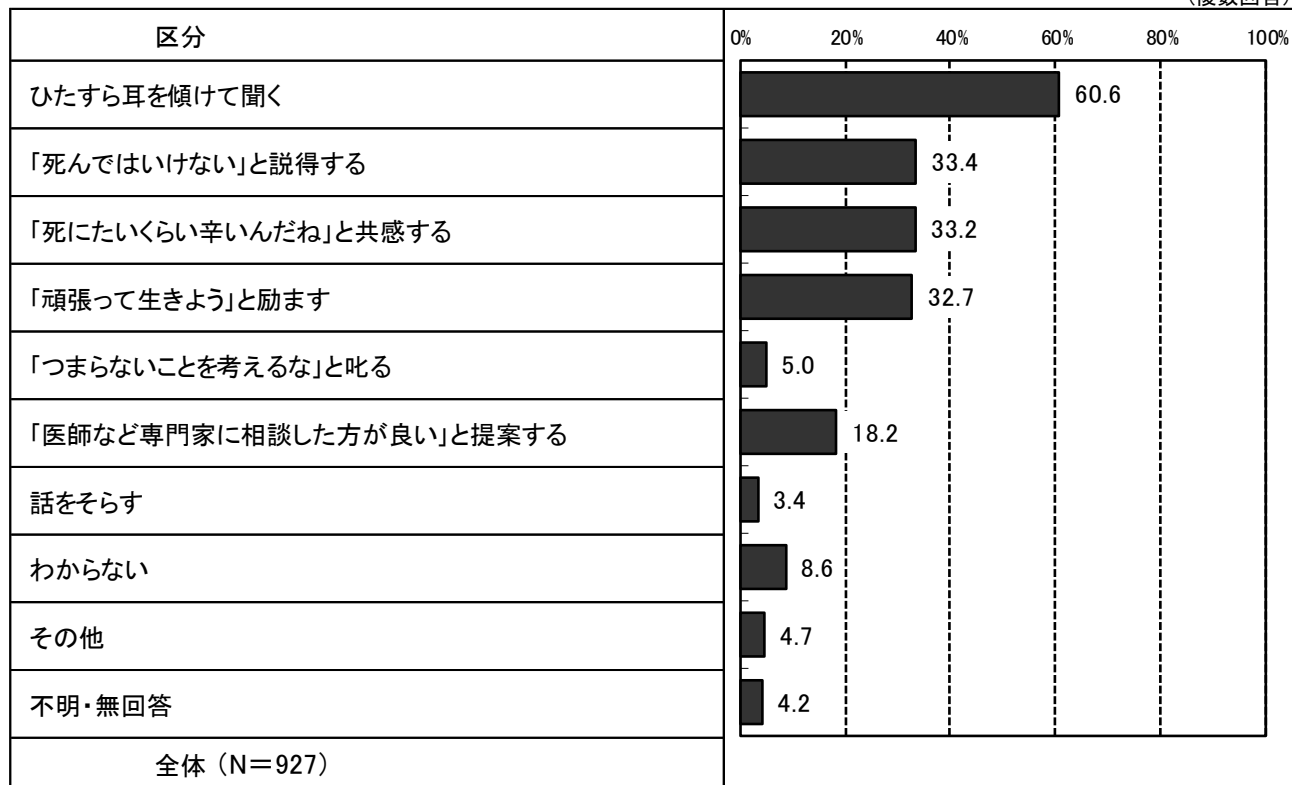


問53 もし仮に、あなたは、身近な人に「死にたい」と相談されたときはどうしますか。

「ひたすら耳を傾けて聞く」が60.6%で最も多く、次いで「『死んではいけない』と説得する」が33.4%、「『死にたいくらい辛いんだね』と共感する」が33.2%が続いています。

【全県値】

(複数回答)



【圏域別】

	合計	ひたすら耳を傾けて聞く	「死んではいけない」と説得する	「死にたいくらい辛いんだね」と共感する	「頑張って生きよう」と励ます	「つまらないことを考えるな」と叱る	「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する	話をそらす	わからない	その他	無回答
全体	927	59.8	36.5	31.5	34.5	4.6	17.2	3.6	9.2	5.2	4.1
神戸	73	58.9	32.9	37.0	32.9	4.1	26.0	0.0	11.0	4.1	4.1
阪神南	84	61.9	28.6	34.5	28.6	6.0	11.9	4.8	6.0	6.0	6.0
阪神北	96	61.5	30.2	31.3	35.4	4.2	21.9	6.3	10.4	7.3	2.1
東播磨	99	60.6	37.4	34.3	31.3	7.1	14.1	4.0	3.0	3.0	5.1
北播磨	88	54.5	21.6	23.9	29.5	1.1	13.6	1.1	19.3	5.7	3.4
中播磨	89	66.3	34.8	28.1	32.6	6.7	13.5	5.6	7.9	1.1	3.4
西播磨	104	58.7	49.0	36.5	41.3	4.8	15.4	4.8	6.7	3.8	4.8
但馬	100	58.0	47.0	32.0	34.0	1.0	17.0	2.0	7.0	8.0	6.0
丹波	94	59.6	40.4	33.0	44.7	6.4	18.1	3.2	11.7	8.5	1.1
淡路	100	58.0	38.0	25.0	33.0	5.0	21.0	3.0	10.0	4.0	5.0

性・学年別にみると、男性、女性ともに「ひたすら耳を傾けて聞く」は、学年が上がるにつれ高くなっており、「『死んではいけない』と説得する」は、学年が上がるにつれ低くなっています。

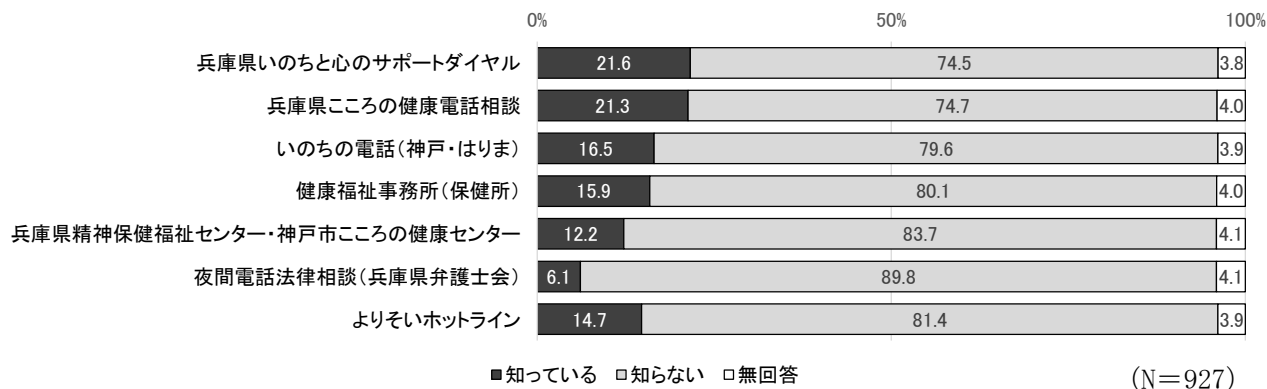
【性・学年別】

	合計	ひたすら 耳を傾け て聞く	「死んで はいけな い」と説 得する	「死にた いくら 辛いんだ ね」と共 感する	「頑張っ て生きよ う」と励ま す	「つまら ないこと を 考えるな 」と叱る	「医師な ど専門家 に相談し た方が良 い」と提 案する	話をそら す	わからな い	その他	無回答
全体	927	59.8	36.5	31.5	34.5	4.6	17.2	3.6	9.2	5.2	4.1
男性-中1	144	40.3	41.7	23.6	34.7	6.3	20.1	2.1	16.0	3.5	6.3
男性-中3	165	50.3	40.6	25.5	40.6	6.7	18.8	6.1	9.7	3.6	4.8
男性-高3	110	56.4	29.1	20.9	22.7	3.6	14.5	4.5	15.5	5.5	1.8
女性-中1	161	63.4	38.5	34.8	39.1	5.6	16.8	1.9	7.5	6.8	5.0
女性-中3	182	68.1	37.4	36.8	37.9	2.2	13.2	3.3	7.1	7.7	2.2
女性-高3	148	77.0	31.8	43.2	27.7	2.7	18.2	2.7	2.0	4.1	4.1
無回答	17	64.7	11.8	35.3	29.4	11.8	29.4	11.8	5.9	0.0	5.9

問54 次の相談窓口をご存知ですか。(ア)から(キ)について、お答え下さい。

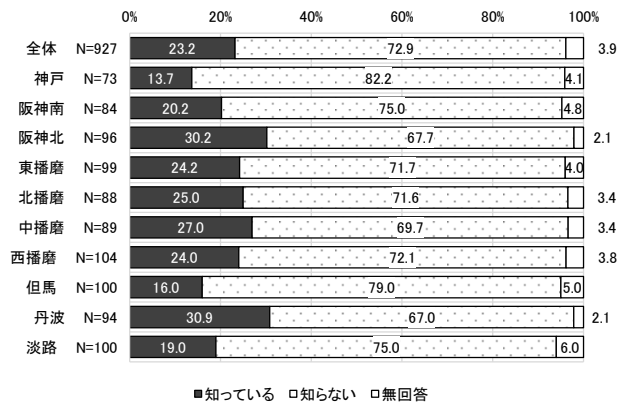
どの相談窓口も「知らない」が「知っている」を上回っています。「知っている」は「兵庫県いのちと心のサポートダイヤル」「兵庫県こころの健康電話相談」が他の項目より高くなっています。

【全県値】

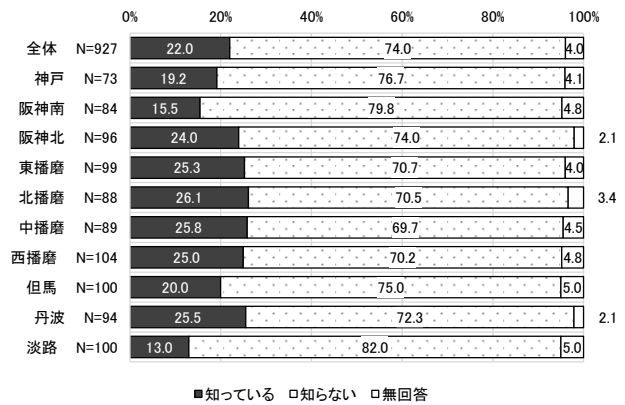


【圏域別】

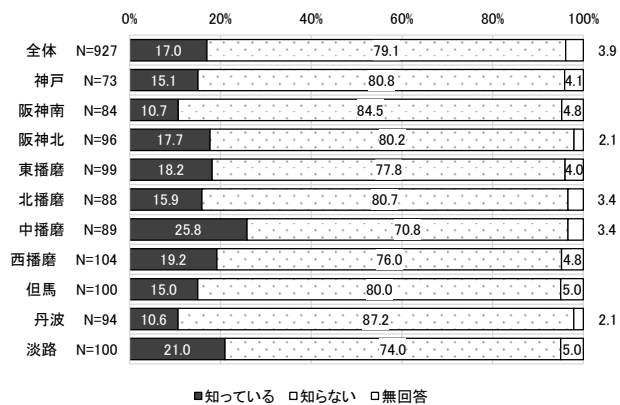
(ア) 兵庫県いのちと心のサポートダイヤル



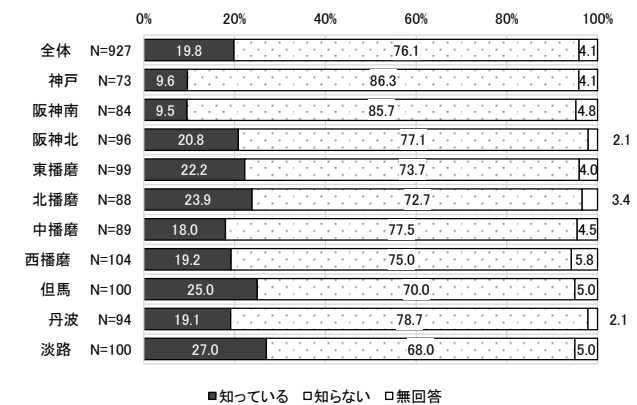
(イ) 兵庫県こころの健康電話相談



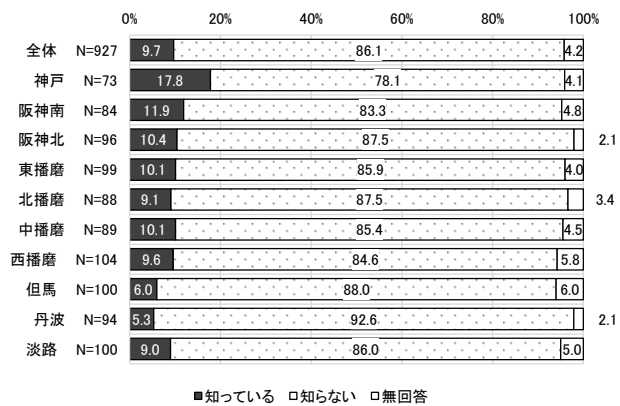
(ウ) いのちの電話 (神戸・はりま)



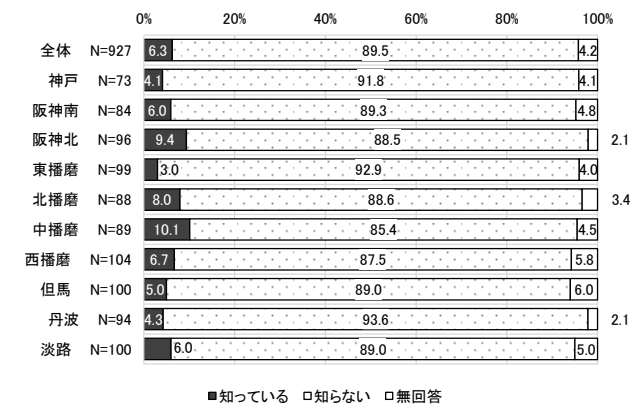
(エ) 健康福祉事務所 (保健所)



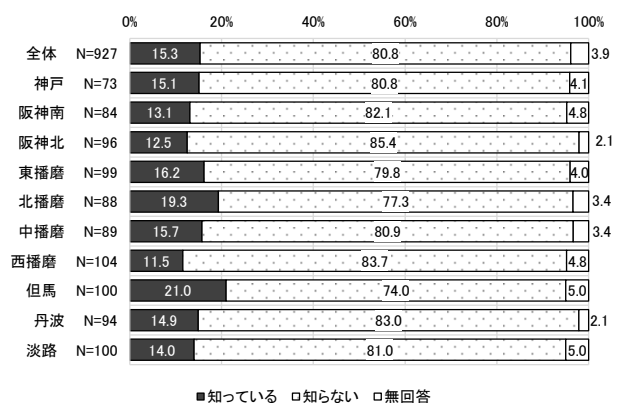
(オ) 兵庫県精神保健福祉センター・神戸市こころの健康センター



(カ) 夜間電話法律相談 (兵庫県弁護士会)

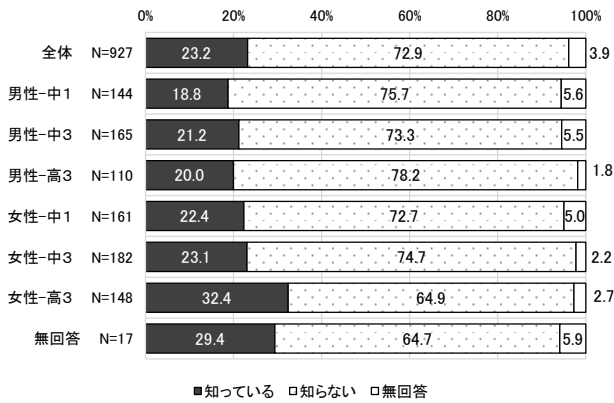


(キ) よりそいホットライン

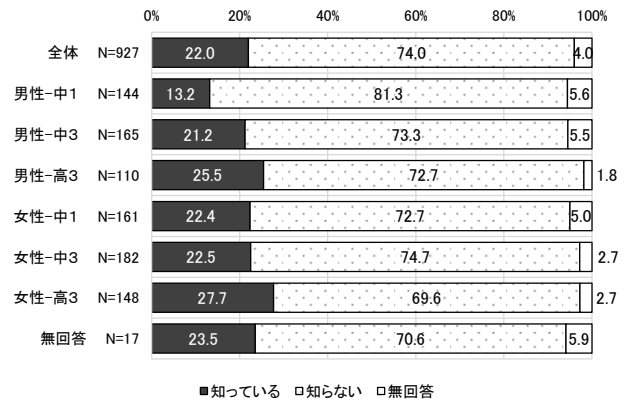


【性・学年別】

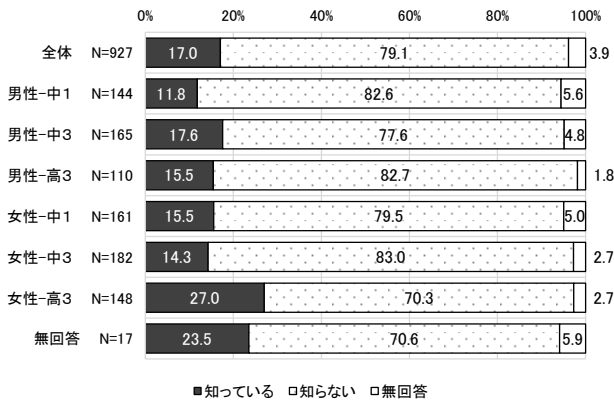
(ア) 兵庫県いのちと心のサポートダイヤル



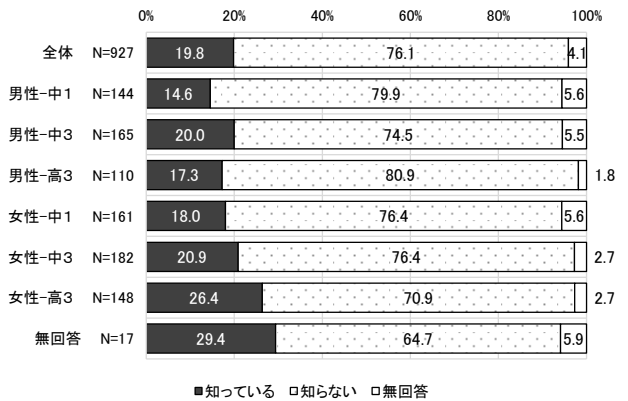
(イ) 兵庫県こころの健康電話相談



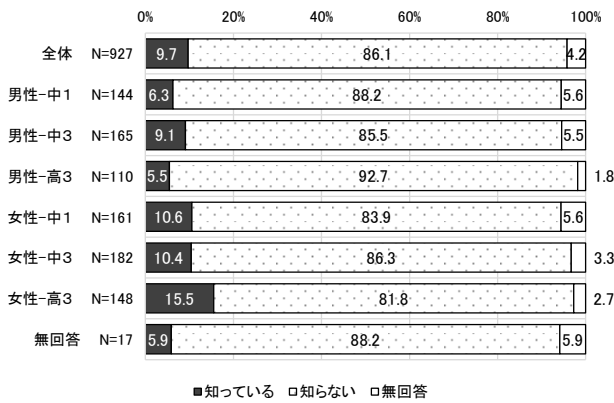
(ウ) いのちの電話 (神戸・はりま)



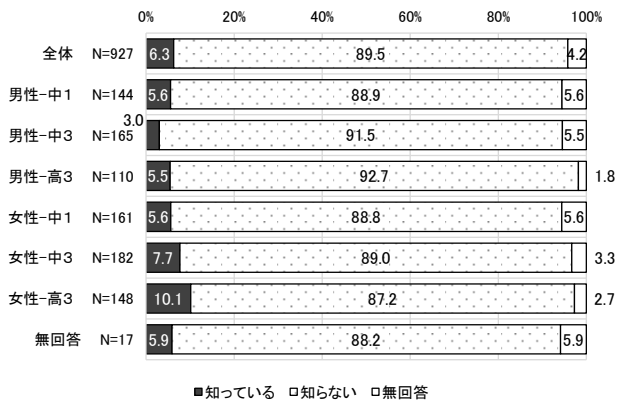
(エ) 健康福祉事務所 (保健所)



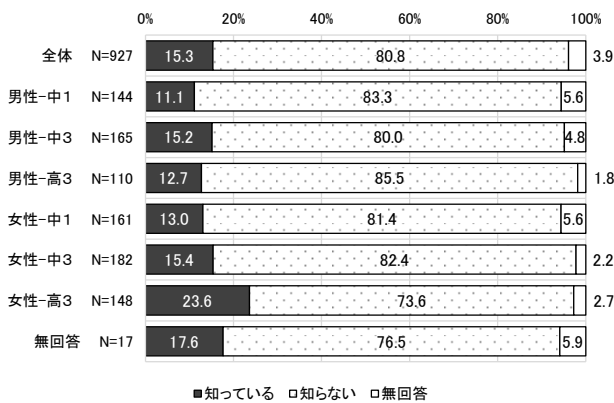
(オ) 兵庫県精神保健福祉センター・神戸市こころの健康センター



(カ) 夜間電話法律相談 (兵庫県弁護士会)



(キ) よりそいホットライン

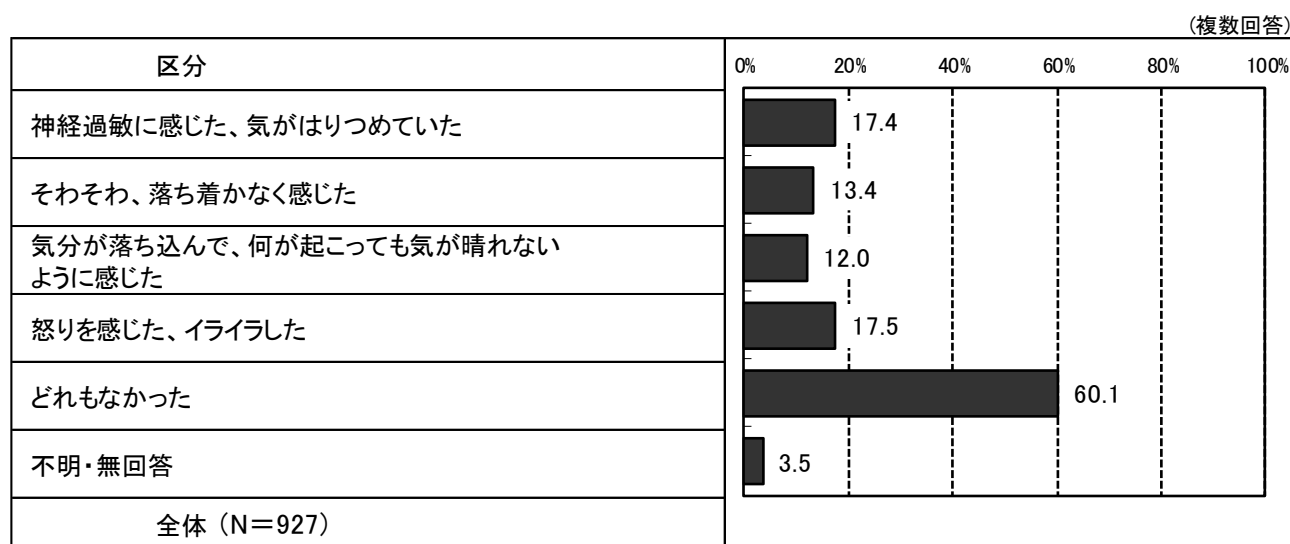


2 新型コロナウイルス感染症関連

問55「新型コロナウイルス感染症」に関連して、お尋ねします。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、次のようなことはありましたか。

「どれもなかった」が60.1%で最も多く、次いで「怒りを感じた、イライラした」が17.5%、「神経過敏に感じた、気がはりつめていた」が17.4%が続いています。

【全県値】



【圏域別】

	合計	神経過敏に感じた、気がはりつめていた	そわそわ、落ち着かなく感じた	気分が落ち込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた	怒りを感じた、イライラした	どれもなかった	無回答
全体	927	13.7	12.0	9.6	15.5	62.8	3.9
神戸	73	28.8	19.2	21.9	27.4	47.9	2.7
阪神南	84	16.7	13.1	9.5	11.9	61.9	4.8
阪神北	96	13.5	7.3	10.4	16.7	64.6	2.1
東播磨	99	15.2	12.1	8.1	14.1	64.6	4.0
北播磨	88	11.4	9.1	10.2	10.2	68.2	3.4
中播磨	89	7.9	12.4	4.5	13.5	69.7	3.4
西播磨	104	10.6	12.5	3.8	16.3	57.7	4.8
但馬	100	6.0	9.0	7.0	13.0	69.0	7.0
丹波	94	13.8	11.7	12.8	17.0	62.8	1.1
淡路	100	17.0	15.0	11.0	17.0	59.0	5.0

【性・学年別】

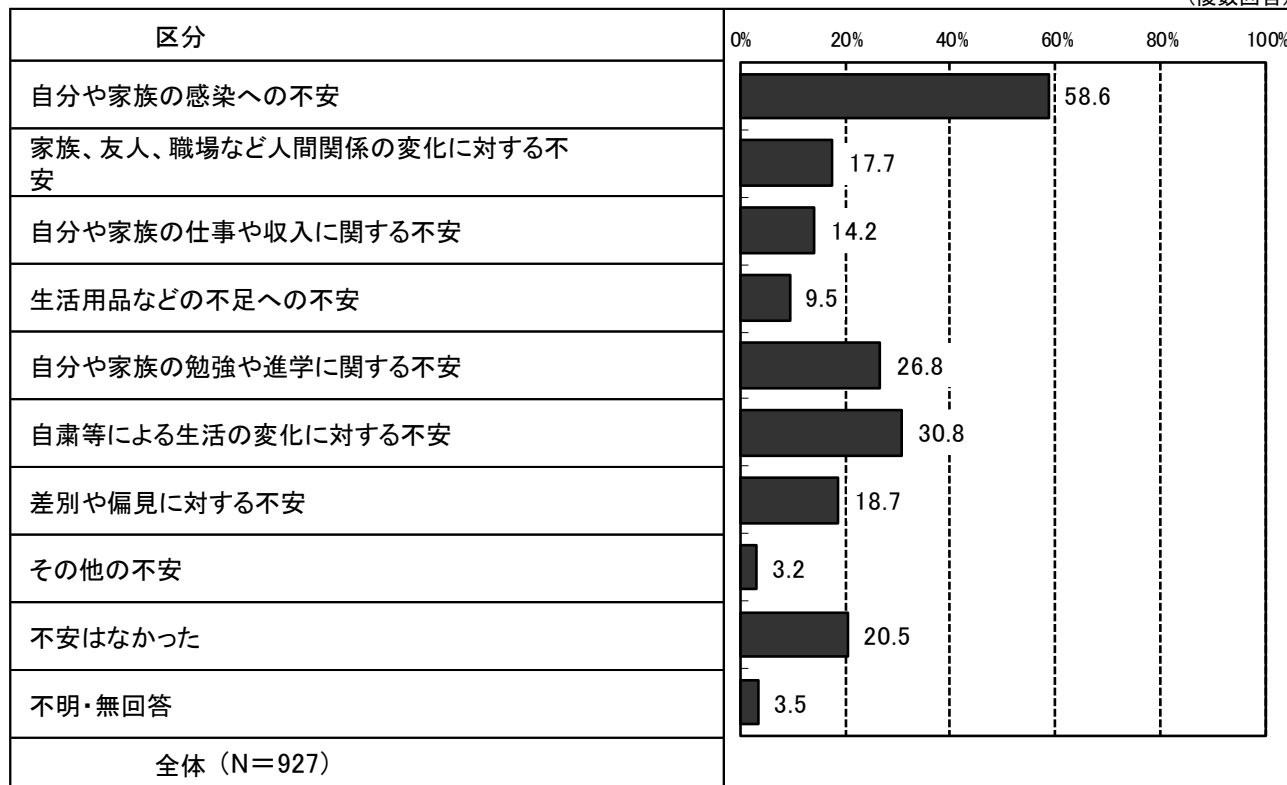
	合計	神経過敏に感じた、気がはりつめていた	そわそわ、落ち着かなく感じた	気分が落ち込んで、何が起っても気が晴れないように感じた	怒りを感じた、イライラした	どれもなかった	無回答
全体	927	13.7	12.0	9.6	15.5	62.8	3.9
男性-中1	144	9.7	11.1	4.2	14.6	67.4	4.9
男性-中3	165	10.3	9.1	2.4	11.5	69.7	5.5
男性-高3	110	14.5	16.4	5.5	13.6	66.4	1.8
女性-中1	161	14.9	10.6	13.0	17.4	62.1	5.0
女性-中3	182	14.3	12.1	12.6	13.2	60.4	2.2
女性-高3	148	18.9	14.9	18.9	23.6	52.0	3.4
無回答	17	11.8	5.9	5.9	11.8	58.8	5.9

問56 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際して、不安に思ったことをお答えください。

「自分や家族の感染への不安」が58.6%で最も多く、次いで「自粛等による生活の変化に対する不安」が30.8%、「自分や家族の勉強や進学に関する不安」が26.8%が続いています。

【全県値】

(複数回答)



【圏域別】

	合計	自分や家族の感染への不安	家族、友人、職場など人間関係の変化に対する不安	自分や家族の仕事や収入に関する不安	生活用品などの不足への不安	自分や家族の勉強や進学に関する不安	自粛等による生活の変化に対する不安	差別や偏見に対する不安	その他の不安	不安はなかった	無回答
全体	927	59.3	16.9	11.1	9.7	25.4	29.1	18.3	3.3	20.3	3.6
神戸	73	64.4	21.9	21.9	9.6	34.2	37.0	27.4	2.7	17.8	2.7
阪神南	84	48.8	14.3	13.1	9.5	23.8	32.1	14.3	2.4	23.8	4.8
阪神北	96	55.2	9.4	16.7	11.5	19.8	26.0	6.3	5.2	22.9	2.1
東播磨	99	57.6	20.2	9.1	8.1	26.3	33.3	14.1	3.0	22.2	4.0
北播磨	88	63.6	13.6	9.1	8.0	22.7	28.4	21.6	1.1	23.9	3.4
中播磨	89	62.9	22.5	7.9	6.7	28.1	19.1	24.7	4.5	14.6	4.5
西播磨	104	61.5	18.3	12.5	14.4	20.2	32.7	19.2	1.9	22.1	3.8
但馬	100	54.0	19.0	9.0	10.0	24.0	26.0	18.0	2.0	25.0	5.0
丹波	94	62.8	17.0	8.5	12.8	37.2	28.7	19.1	4.3	13.8	1.1
淡路	100	63.0	14.0	6.0	6.0	20.0	29.0	21.0	6.0	16.0	4.0

【性・学年別】

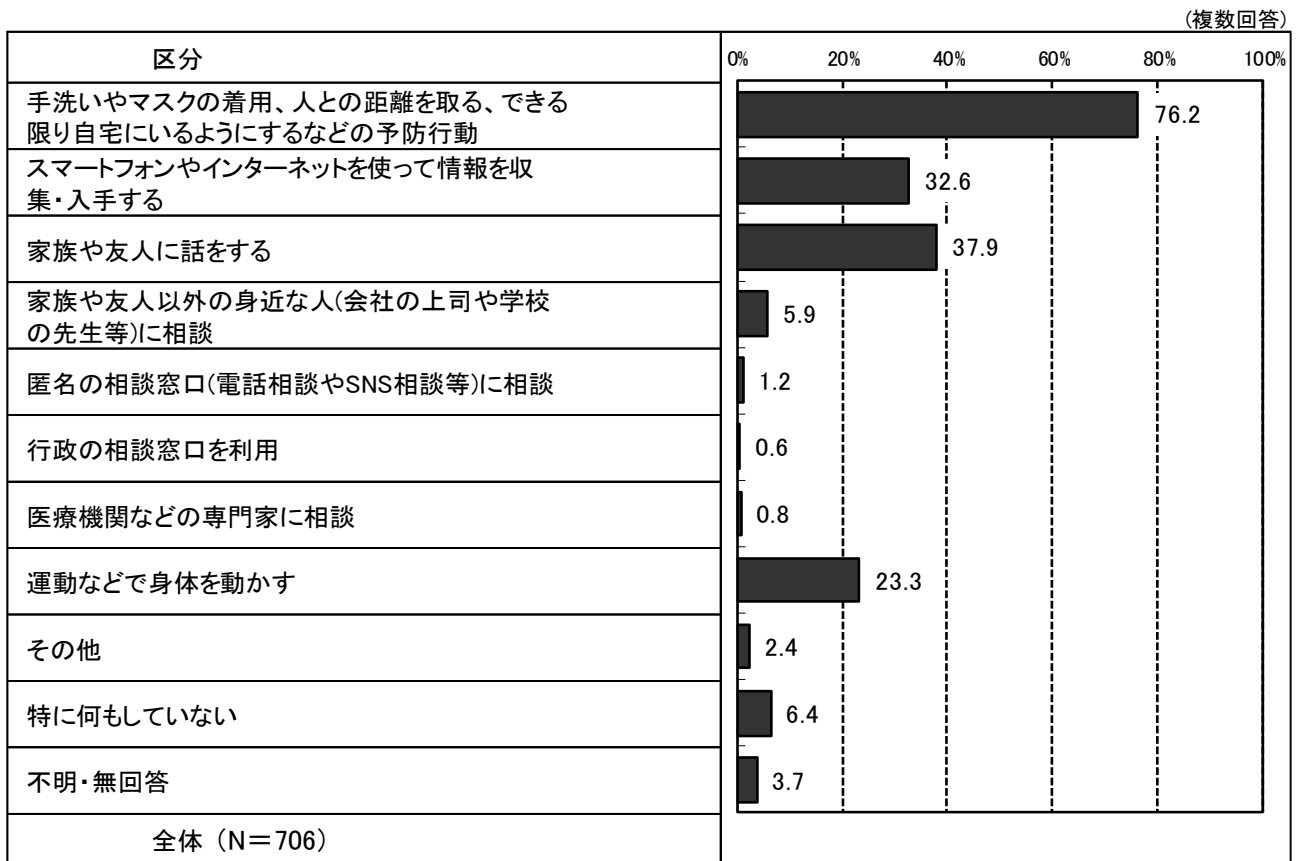
	合計	自分や家族の感染への不安	家族、友人、職場など人間関係の変化に対する不安	自分や家族の仕事や収入に関する不安	生活用品などの不足への不安	自分や家族の勉強や進学に関する不安	自粛等による生活の変化に対する不安	差別や偏見に対する不安	その他の不安	不安はなかった	無回答
全体	927	59.3	16.9	11.1	9.7	25.4	29.1	18.3	3.3	20.3	3.6
男性-中1	144	51.4	14.6	4.9	8.3	8.3	22.9	19.4	3.5	30.6	4.9
男性-中3	165	49.7	13.9	12.1	8.5	20.0	23.6	17.6	3.6	26.7	5.5
男性-高3	110	49.1	16.4	14.5	7.3	35.5	24.5	14.5	2.7	24.5	0.9
女性-中1	161	68.3	18.6	11.8	10.6	18.0	35.4	18.0	1.2	15.5	5.0
女性-中3	182	65.9	19.2	13.7	13.7	36.3	31.9	19.8	6.6	14.8	1.6
女性-高3	148	66.9	18.9	10.1	9.5	36.5	34.5	18.9	2.0	11.5	2.7
無回答	17	64.7	11.8	5.9	0.0	11.8	29.4	23.5	0.0	23.5	5.9

【問56で「1～8」とお答えの方は、以下の1) について、お答えください。】

1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、不安やストレスを解消するために、あなたがしたこと・していることは何ですか。

「手洗いやマスクの着用、人との距離を取る、できる限り自宅にいるようにするなどの予防行動」が76.2%で最も多く、次いで「家族や友人に話をする」が37.9%、「スマートフォンやインターネットを使って情報を収集・入手する」が32.6%が続いています。

【全県値】



注：「その他」の具体的な内容

「インターネット」「ゲーム」「趣味」「消毒」など

【圏域別】

	合計	手洗いやマスクの着用、人との距離を取る、できる限り自宅にいるなどの予防行動	スマートフォンやインターネットを使って情報を収集・入手する	家族や友人に話をする	家族や友人以外の身近な人(会社の上司や学校の先生等)に相談	匿名の相談窓口(電話相談やSNS相談等)に相談	行政の相談窓口を利用	医療機関などの専門家に相談	運動などで身体を動かす	その他	特に何もしていない	無回答
全体	706	74.6	29.7	32.7	5.9	0.7	0.4	0.4	22.1	2.3	8.2	4.5
神戸	58	75.9	37.9	48.3	6.9	1.7	0.0	0.0	27.6	3.4	5.2	3.4
阪神南	60	73.3	41.7	36.7	5.0	0.0	3.3	3.3	23.3	3.3	5.0	6.7
阪神北	72	79.2	27.8	31.9	4.2	1.4	0.0	1.4	22.2	0.0	6.9	1.4
東播磨	73	71.2	30.1	39.7	8.2	0.0	0.0	0.0	15.1	2.7	6.8	2.7
北播磨	64	79.7	31.3	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0	21.9	0.0	6.3	3.1
中播磨	72	84.7	19.4	30.6	4.2	4.2	0.0	0.0	23.6	1.4	6.9	1.4
西播磨	77	83.1	29.9	37.7	2.6	0.0	0.0	0.0	28.6	3.9	5.2	3.9
但馬	70	72.9	31.4	21.4	11.4	0.0	0.0	0.0	22.9	2.9	12.9	10.0
丹波	80	62.5	28.8	26.3	8.8	0.0	1.3	0.0	22.5	5.0	12.5	6.3
淡路	80	66.3	23.8	27.5	2.5	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	12.5	6.3

【性・学年別】

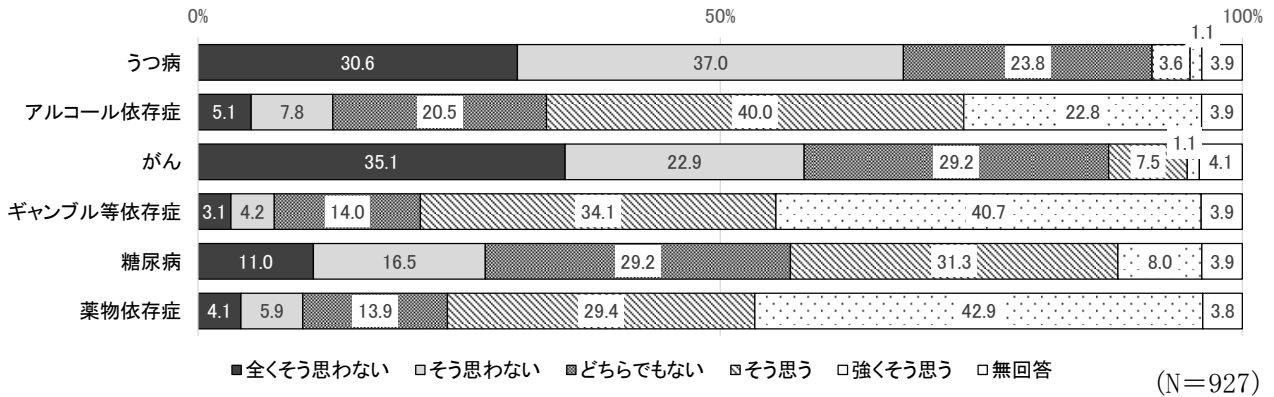
	合計	手洗いやマスクの着用、人との距離を取る、できる限り自宅に在るような予防行動	スマートフォンやインターネットを使って情報収集・入手する	家族や友人に話をする	家族や友人以外の身近な人(会社の上司や学校の先生等)に相談	匿名の相談窓口(電話相談やSNS相談等)に相談	行政の相談窓口を利用	医療機関などの専門家に相談	運動などで身体を動かす	その他	特に何もしていない	無回答
全体	706	74.6	29.7	32.7	5.9	0.7	0.4	0.4	22.1	2.3	8.2	4.5
男性-中1	93	72.0	21.5	28.0	5.4	0.0	0.0	0.0	35.5	2.2	11.8	2.2
男性-中3	112	73.2	35.7	38.4	8.0	0.9	0.9	1.8	25.9	2.7	6.3	7.1
男性-高3	82	69.5	30.5	25.6	4.9	0.0	1.2	1.2	22.0	1.2	11.0	3.7
女性-中1	128	76.6	24.2	39.1	7.0	1.6	0.8	0.0	18.8	3.1	9.4	6.3
女性-中3	152	74.3	25.7	26.3	1.3	0.7	0.0	0.0	19.7	3.9	8.6	4.6
女性-高3	127	78.0	40.2	37.8	9.4	0.8	0.0	0.0	15.0	0.0	4.7	2.4
無回答	12	91.7	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3

3 依存症対策関連

問57 以下の(ア)～(カ)に掲げる病気になったのは、「本人の責任である」と思いますか。
(ア)～(カ)について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

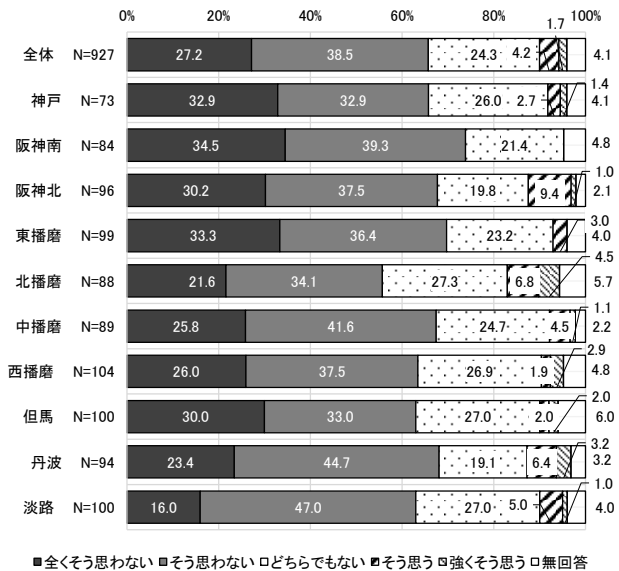
「うつ病」「がん」では「本人の責任である」と思わない人が半数を超えている一方、「アルコール依存症」「ギャンブル等依存症」「薬物依存症」では「本人の責任である」と思う人が半数を超えています。

【全県値】

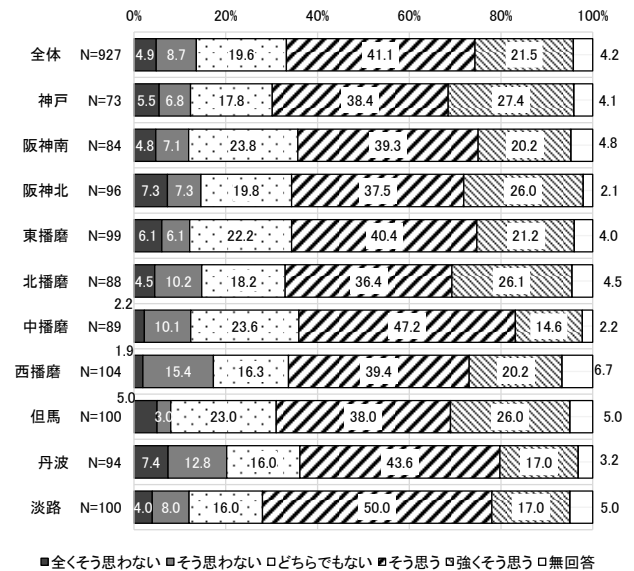


【圏域別】

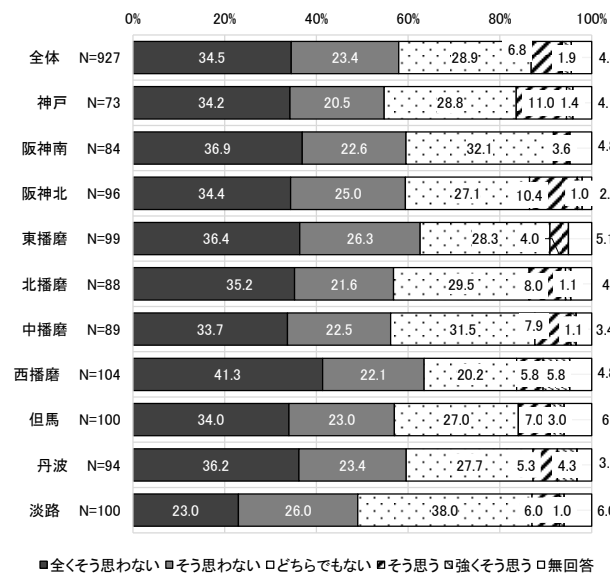
(ア) うつ病



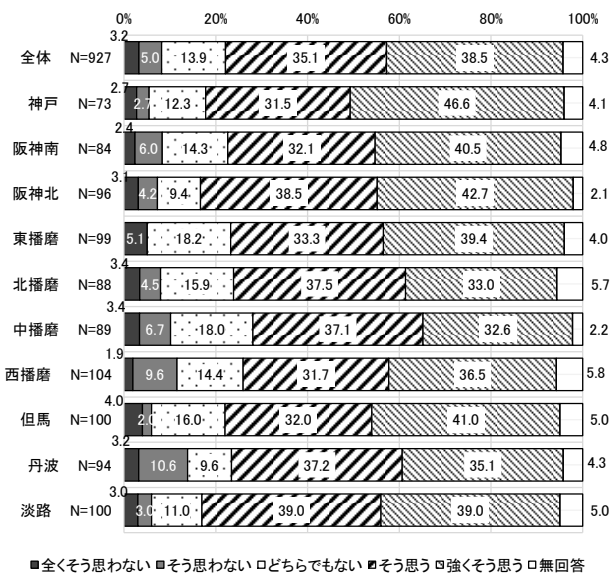
(イ) アルコール依存症



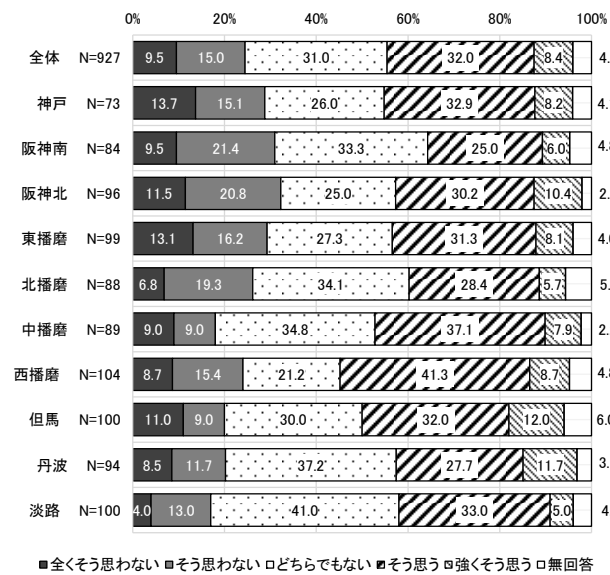
(ウ) がん



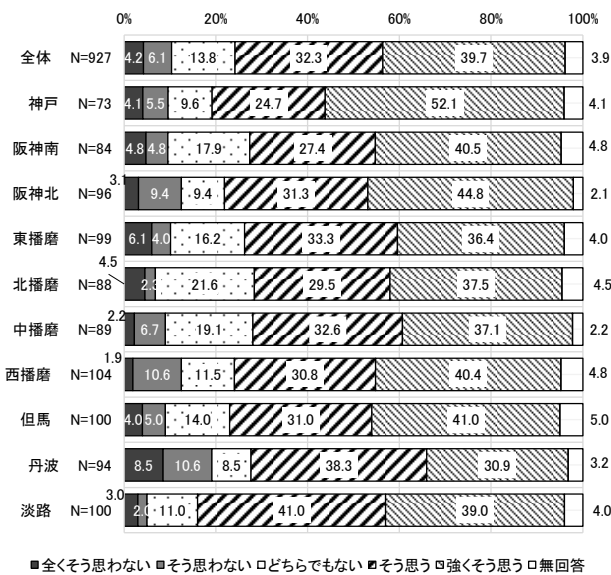
(エ) ギャンブル等依存症



(オ) 糖尿病

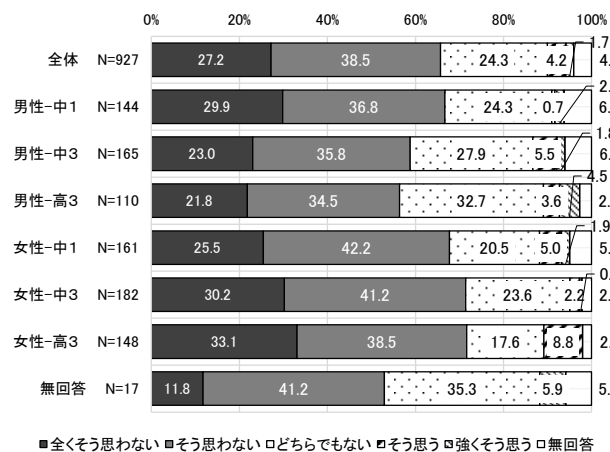


(カ) 薬物依存症

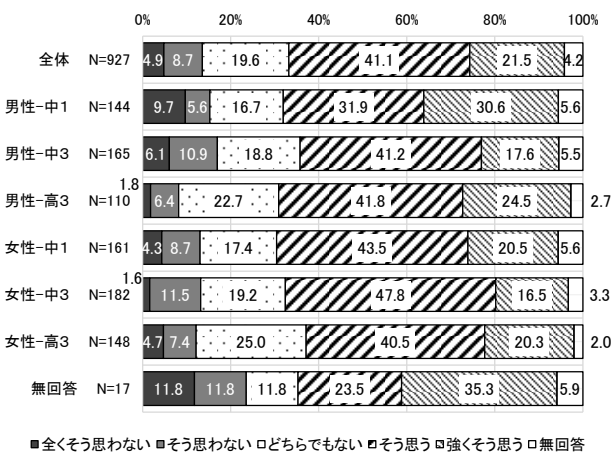


【性・学年別】

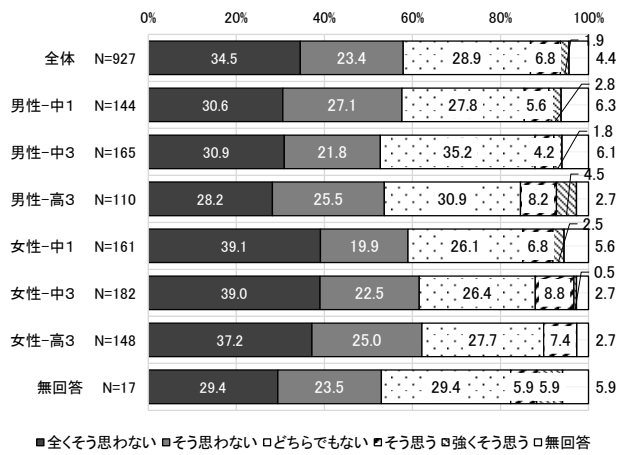
(ア) うつ病



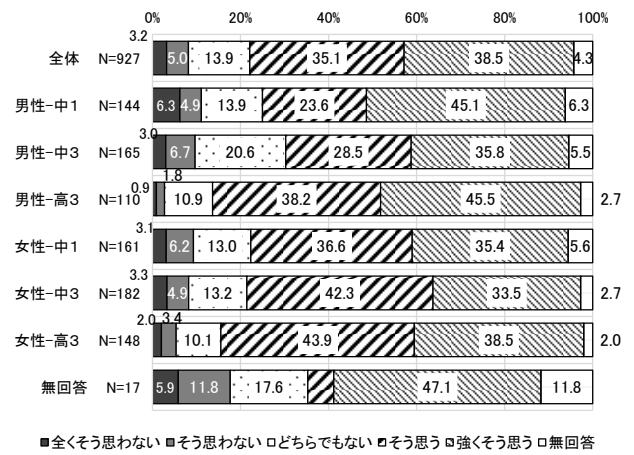
(イ) アルコール依存症



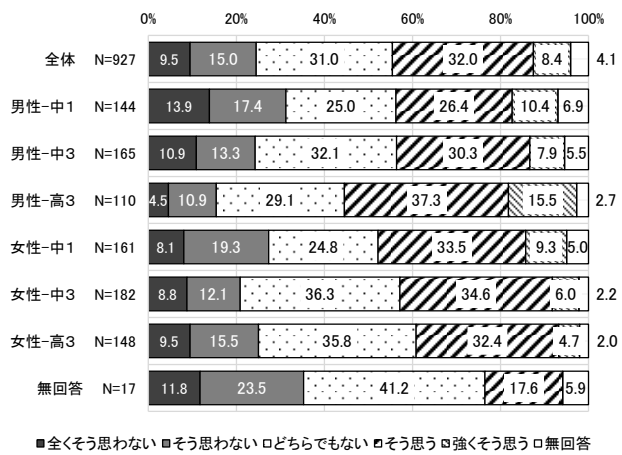
(ウ) がん



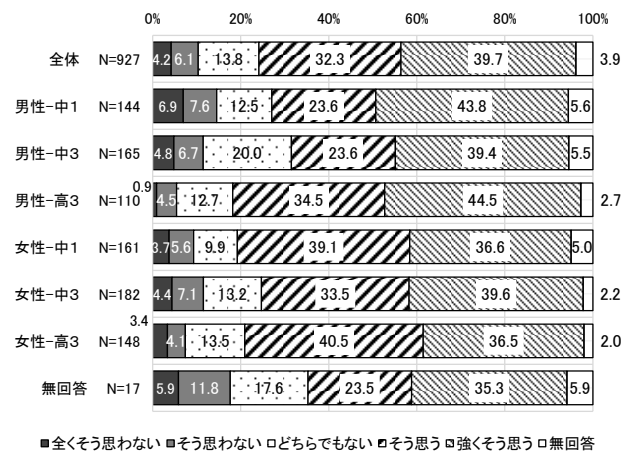
(エ) ギャンブル等依存症



(オ) 糖尿病



(カ) 薬物依存症



問58 兵庫県の自殺対策の取り組みについて、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

分類項目	件数
相談機能の充実・周知	13
情報発信・啓発の徹底	11
いじめ防止・対応の充実	5
学校・教師の対応の改善	5
自殺のない社会への希求	5
インターネット活用による情報発信	4
自殺対策の困難性	4
つながり・気づきが大切	3
有効性を追究した自殺対策を	3
アンケートに関して(内容・設問数への不満)	2
自己責任論への疑問・肯定	2
その他	2
安楽死の議論の必要性	1
うつに対する知識の啓発	1
自殺スポットの監視	1
自然を増やす	1
電車への投身自殺の防止	1
自殺のない社会への希求、学校・教師の対応の改善	1
計	65